はじめに

昭和 23 年４月、１台の救急車により開始した本市の救急業務は、市民に欠くことのできない行政サービスとして定着し、令和３年３月１日現在、消防局、25 消防署、25 出張所に 69 救急隊を分散配置し、各種の救急需要に備えています。

近年、高齢化の進展などにより、救急出場件数は右肩上がりで増加し続けていたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、救急出場件数は平成 26 年以降初の減少に転じ、21 万 7,430 件、搬送人員も同様に平成 20 年以降初の減少となり、17 万 6,633 人となった。これは救急車が 2.4 分に１件出場し、市民 15.5 人に１人が救急車によって医療機関等へ搬送されたことになります。

こうした中で、平成８年度に救急救命士の常時乗車体制を確立するとともに、メディカルコントロール体制のもと、医師や指導救命士による救急救命士の生涯教育体制や事後検証体制の確立など、救急業務の質的向上を図っています。

平成 21 年 10 月には「救急安心センター」を開設し、専用回線（＃7119 又は 06－6582－7119）を設けて看護師が医師の支援体制のもと 24 時間・365 日、市民の方からの救急医療相談や救急病院の問合せなどに対応しており、救急医療相談の結果、緊急性の高い症状の場合には、速やかに救急車を出場させる体制を整備しています。

救命効果の向上を図るため、平成６年度から救命講習会を開催してきましたが、より受講しやすい体制とし繰り返し学んでいただくために、パソコンやスマートフォンで学べるＷＥＢサイトを平成 24 年 10 月に開設しました。また、１１９番受信時に指令係員が応急手当の方法を指導するなど、救命効果を高めるための取組みを行っています。

さらに、救急活動記録等のデータを分析し、ケガや病気の発生原因や傾向、予防策などを市民の方に情報提供し、「少しの注意と心がけ」で事故や病気を未然に防ぐことを目的として「予防救急」の普及啓発に努めています。

平成 25 年２月、救急隊がスマートフォンアプリを用いて、リアルタイムに医療機関の受け入れ情報を受信するとともに、傷病者の観察項目を入力することにより、医療機関の検索と搬送連絡がワンストップで行える「大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」を導入し、迅速かつ的確な傷病者の搬送に努めています。

一方で、ICT に関する取組を実施しており、平成 27 年９月から、子供が突然の病気やケガをした場合に自ら緊急性の判断ができる「小児救急支援アプリ」を、平成 30 年４月から、目の前で人が倒れた時、ためらわずに応急手当の実施を支援することができる「救命サポートアプリ」を運用しています。

今後も、消防と医療機関だけでなく、市民の皆さんとともに尊い命を守るための体制づくりや、救急業務の推進に一層の努力を傾注し、市民の皆さんの信頼と期待に応えていきます。

ここに、令和２年中の救急業務の実態をまとめましたので、より多くの皆さんに救急業務を理解していただくためにご活用いただければ幸いです。

令和３年３月

大 阪 市 消 防 局

目　　次

救 急 体 制 等

１．救急体制の現況 …… 3
２．救急医療体制の現況 …… 4
３．救急医療情報 …… 4
４．救急隊員の教育等 …… 5
５．救急救命士制度の運用 …… 6
６．指導救命士制度の運用 …… 7
７．応急手当の普及啓発 …… 8
８．救急安心センターおおさか …… 10
９．小児救急支援アプリ …… 11
10．予防救急 …… 12
11．患者等搬送事業の認定と指導 …… 12
12．関係機関等との協調 …… 12
図１　救急医療情報システム概要図 …… 13
表１　救急隊配置状況 …… 14
表２　救急活動用資器材 …… 15
表３　二次・三次救急医療機関 …… 16
表４　初期救急医療機関 …… 18
表５　休日・夜間緊急歯科診療所 …… 18
表６　二次・三次救急医療機関の推移 …… 18

救 急 活 動

１．救急活動状況 …… 21
２．事故種別救急活動状況 …… 22
３．救急救命士活動状況と救命率 …… 24
４．救急出場件数の高順位 …… 26
５．時間別出場件数 …… 27
６．救急活動所要時間 …… 28
７．程度別搬送状況 …… 29
８．性別・年齢層別搬送状況 …… 30
９．医療機関開設主体別搬送状況 …… 32
10．転院搬送状況の推移 …… 32
11．転送状況の推移 …… 33
12．要保護傷病者搬送状況の推移 …… 34

救 急 安 心 セ ン タ ー お お さ か

１．救急安心センター利用状況 …… 37
２．医療機関案内の診療科目別状況 …… 38
３．救急医療相談状況 …… 39

統　計　表

（参考）　事故種別区分表 ……42
第１表　事故種別救急活動状況 ……43
第２表　隊別救急活動状況 ……44
第３表　月別救急活動状況 ……46
第４表　月別出場件数及び搬送人員 ……47
第５表　行政区別救急活動状況 ……48
第６表　平日・休日、時間別出場件数及び搬送人員 ……50
第７表　曜日別、時間別出場件数及び搬送人員 ……52
第８表　事故種別出場件数及び搬送人員 ……54
第９表　日別出場件数 ……55
第10表　発生場所別救急活動状況 ……56
第11表　活動区分別出場件数 ……57
第12表　理由別不搬送件数 ……57
第13表　医療機関開設主体別搬送人員 ……58
第14表　傷病程度別搬送人員 ……59
第15表　診療科目別搬送人員 ……59
第16表　傷病種別搬送状況 ……60
第17表　年齢層別搬送人員 ……62
第18表　性別、事故種別搬送人員 ……62
第19表　所要時間別搬送人員 ……63
第20表　転院搬送人員 ……63
第21表　理由別転院搬送人員 ……63
第22表　診療科目別転送状況 ……64
第23表　理由別転送回数 ……64
第24表　回数別転送状況 ……64
第25表　要保護傷病者搬送状況 ……65
第26表　救急車走行距離及び所要時間 ……66
第27表　覚知方法別受信件数 ……68
第28表　ＰＡ連携活動支援種別状況 ……68
第29表　他市町村との協力状況 ……68
第30表　応急手当普及啓発の実施状況 ……68
第31表　救急活動状況の推移 ……69
第32表　年別救急活動状況 ……70

参　考　資　料

昭和 50 年以降の特異救急事故 ……73
大阪市消防（救急関連）のあゆみ ……75

※数値は、少数点第２位を四捨五入しており、内訳の合計が異なる場合があります。

救　急　体　制　等

１．救急体制の現況

大阪市の推計人口（令和２年10月１日）

人　　口	２，７５０，９９５人
面　　積	２２５．３２ｋ㎡

救急業務実施体制（令和３年３月１日）

救　急　隊　数	６９隊
救　急　隊　員	６８９人

救急活動状況（令和２年中）

出　場　件　数	２１７，４３０件
搬　送　人　員	１７６，６３３人

当局では、救急部救急課において、救急業務に係る企画及び調査に関すること、救急隊の運用に関すること、救急医療機関等との連絡調整に関すること、予防救急や応急手当の普及啓発に関すること、救急車及び救急資器材に関することなど、救急に関する事務を所管し、救急事案の通報の受信、出場指令、その他救急活動に関する管制業務は警防部司令課が所管している。

救急隊は、令和３年３月１日現在、消防局、25消防署、25出張所に69隊を配置して、市民の救急要請に応えるとともに、救急救命士の計画的な養成を行い、全救急隊に常時乗車する体制を確立し、平成29年６月から、消防隊が行う救急隊との連携活動（PA連携活動）に、心肺機能停止傷病者の救急要請時に自動体外式除細動器（AED）を積載する消防隊が救急隊と同時出場し、早期の電気ショックを含む応急処置の実施及び救急隊の救急救命処置を支援する活動（救命連携活動）を加えることによって救急活動の充実強化を図り、救命効果の向上を目指す体制を構築した。

さらに、救急救命士の活動や拡大された応急処置等を的確に実施するため、常に最新の救急資器材の整備や見直しに努めている。

２．救急医療体制の現況

市内の救急医療体制は、外来診療によって救急患者の医療を担当する初期救急医療機関、入院治療を必要とする重症救急患者の医療を担当する二次救急医療機関、複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する三次救急医療機関により構成されている。

【初期救急医療機関】　　７か所

・大阪市中央急病診療所、休日急病診療所（６か所）

【二次救急医療機関】　93 か所

・救急病院、救急診療所

【三次救急医療機関】　　６か所

・救命救急センター

※二次・三次救急医療機関の内、５医療機関が「二次救急医療機関かつ三次救急医療機関」であり、大阪市内の二次・三次救急医療機関数は 94 医療機関となる。（16 ページ表３参照）

３．救急医療情報

救急医療情報は、昭和 54 年度から大阪府救急医療情報システムと当局の「消防指令情報システム」が接続されたことにより、医療機関に設置された大阪府救急医療情報システムの端末機から入力された医療情報を、中継コンピューターを介して当局のシステムに導入し、活用している。

その情報内容は、診療科目（30 科目）ごとの診療可否状況、男女別空床の有無及び手術の可否状況であり、医療機関が診療態勢変更のつど入力することで最新の情報を得ることができる。

大阪市内の医療情報は端末機が設置されている市内の 94 医療機関をはじめ、大阪府内全域の主要な医療機関を含めた、253 医療機関の情報を入手している。

また、救急隊はスマートフォンを活用し、大阪府内で統一された「大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム（ORION）」の運用を、平成 25 年２月より開始している。

４．救急隊員の教育等

当局における救急隊員の養成は、救急業務法制化当時から行ってきたが、平成３年の救急救命士法の施行及び消防学校の教育訓練の基準等の一部改正に伴い、救急隊員教育の充実を図っている。

また、救急隊員教育の更なる充実を図るため、大阪府医師会をはじめとする関係機関の協力のもと、平成15年２月に大阪市地域メディカルコントロール協議会が発足し、救急救命士養成教育や生涯教育、救急活動の事後検証体制などの救急隊員教育全般の整備を図り、充実強化に努めている。特に、救急救命士の生涯教育については、単位制を導入し病院実習を中心に救急専門医の指導のもと、症例検討会、集中講義、救急救命技術研修会等を実施している。

（１）救急教育実施状況（令和２年度中　※修了見込み人員を含む）

ア　救急隊員資格教育	148名
イ　救急救命士資格取得教育（養成期間：令和２年９月～令和３年３月）	
（他都市の救急隊員70名を含む）	100名
ウ　気管挿管病院実習	4名
エ　ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管病院実習	2名

⑵　救急救命士等の隊員教育（令和２年度中）

ア　症例検討会（２か所の救急医療機関で実施）

イ　集中講義（４回）

ウ　生涯教育病院実習（１年間で24時間の病院実習を６か所の救急医療機関で実施）

エ　救急救命技術研修会

オ　学術集会等への参加

全国救急隊員シンポジウム、日本臨床救急医学会、近畿救急医学研究会等への参加

カ　指導救命士による実地研修（On the Job Training）

キ　指導救命士による救急隊員研修（日勤研修）

５．救急救命士制度の運用

当局では、平成４年７月１日に41名の救急救命士が活動を開始し、令和３年３月１日現在、救急救命士数は603名となっている。うち、446名の救急救命士が救急隊員として救急業務に従事しており、全救急隊に救急救命士が常時乗車する体制としている。

また、救急救命士法施行規則等関係法令の一部改正に伴い、救急救命処置のなかでも特に高度な処置である気管内チューブによる気道確保については平成16年７月から、薬剤（アドレナリン）投与については平成18年４月から、所管省庁通知に定められた講習及び病院実習を修了する等の諸条件を満たした救急救命士が、医師の具体的指示下で行えることとなった。

令和３年３月１日現在、薬剤（アドレナリン）投与を行うことが認定された救急救命士は504名、そのうち331名は気管内チューブによる気道確保も行えるものとして認定されている。

さらに、平成26年10月から、必要な講習を受けた救急救命士により、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を実施しており、445人の救急救命士が認定されている。

(1)　救急救命士が行う救急救命処置

ア　救急隊員であれば行うことができる処置

イ　医師の包括的な指示の下で行うことができる処置

○　自動体外式除細動器（ＡＥＤ）による除細動

○　自己注射が可能なエピペン®製剤によるエピペン®投与

○　血糖測定器を用いた血糖測定　など

ウ　医師の具体的な指示の下で行うことができる処置

（ア）心肺機能停止状態の傷病者に対して行う処置

○　乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液

○　食道閉鎖式エアウェイ、ラリンゲアルマスクまたは気管内チューブによる気道確保（ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管を含む）

※食道閉鎖式エアウェイまたはラリンゲアルマスクによる気道確保は、その処置の対象となる傷病者が呼吸機能停止状態又は心臓機能停止の状態であること。また、気管内チューブによる気道確保は、その処置の対象となる傷病者が心臓機能停止状態及び呼吸機能停止の状態であること。

○　アドレナリンを用いた薬剤の投与

※アドレナリンを用いた薬剤の投与は、その処置の対象となる傷病者が心臓機能停止の状態であること。

（イ）心肺機能停止前の傷病者に対して行う処置

○　重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液

○　低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

(2)　メディカルコントロール体制

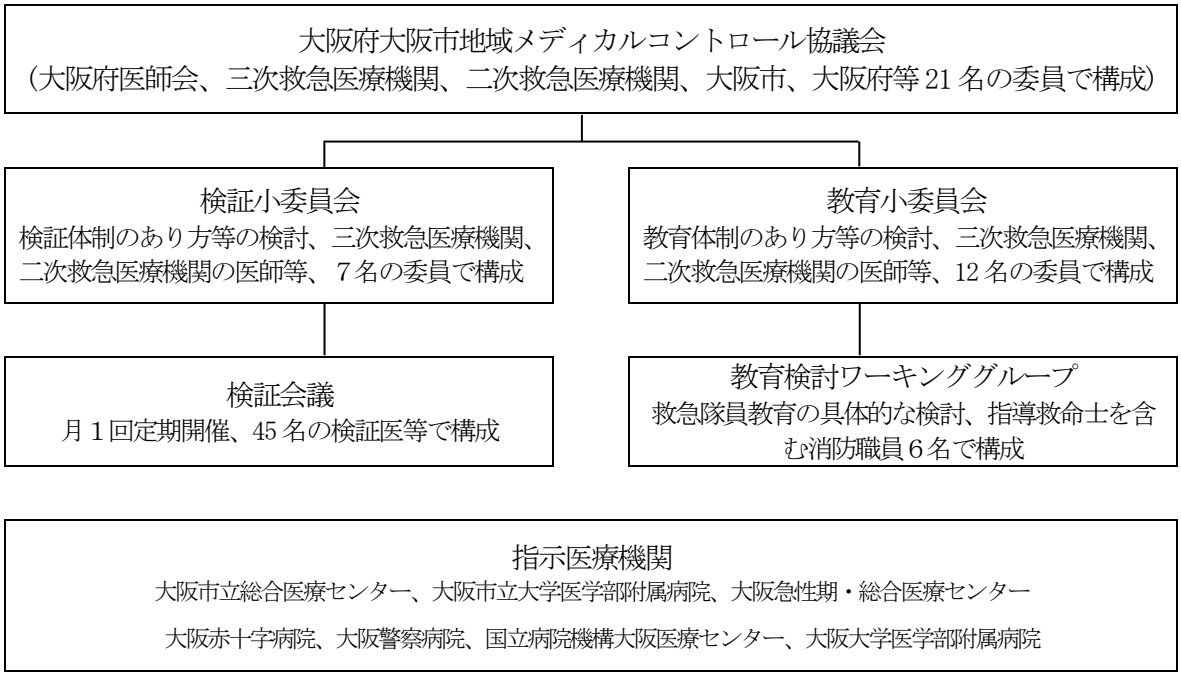
メディカルコントロールとは、医学的な観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証することを言い、応急処置の質を向上させ、救急救命士の処置範囲の拡大等、大阪市域における救急業務の更なる高度化を図ることにより、傷病者の救命効果の向上を目指すものである。そのために、当局では次の４つの体制を整備し、メディカルコントロールの確立を図っている。

①　プロトコルの作成

②　医師から救急隊員に対する指示、指導・助言体制

③　医師による救急活動の医学的な観点からの事後検証体制

④　救急救命士の生涯教育体制



６．指導救命士制度の運用

指導救命士とは、救急業務に関する十分な知識、技術及び経験を有し、医療と連携を図り救急隊員教育を行うことができる救急救命士として、大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会から認定を受けた者である。また、メディカルコントロール体制の中で、救急救命士を含む救急業務に従事する職員への教育・指導、メディカルコントロール協議会及び医療機関との調整等の役割を担い、救急業務全体の質の向上に寄与している。

当局では、平成29年５月から運用を開始し、令和３年３月１日現在、13名の指導救命士が活動している。

７．応急手当の普及啓発

(1)　応急手当普及啓発実施状況

当局では、平成６年度から傷病者の救命効果の向上を図るため、普通救命講習（３時間)、上級救命講習（８時間）及び応急手当普及員講習（24 時間）の講習会を開催し、応急手当に関する知識と技術の普及啓発を実施している。

応急手当の着手率アップが救命率向上に有用であることから、受講しやすい体制を整備することや、受講者のすそ野を広げ（概ね 10 歳以上)、幅広い年代層が繰り返し応急手当を学べる環境をつくることを目指して、胸骨圧迫やＡＥＤに要点を絞った「救命入門コース（90 分)」を平成 24 年 11 月から開始し、さらに、パソコンやスマートフォンの画面を操作することで、応急手当の知識や手順を学べる体験型アプリを作成し、平成 24 年 10 月からＷＥＢ公開（令和３年１月末で延べ約 2,641 万アクセス）するなど、積極的な普及啓発活動に努めている。

【ＷＥＢサイト『ボジョレーに教わる救命ノート』 https://www.119aed.jp】

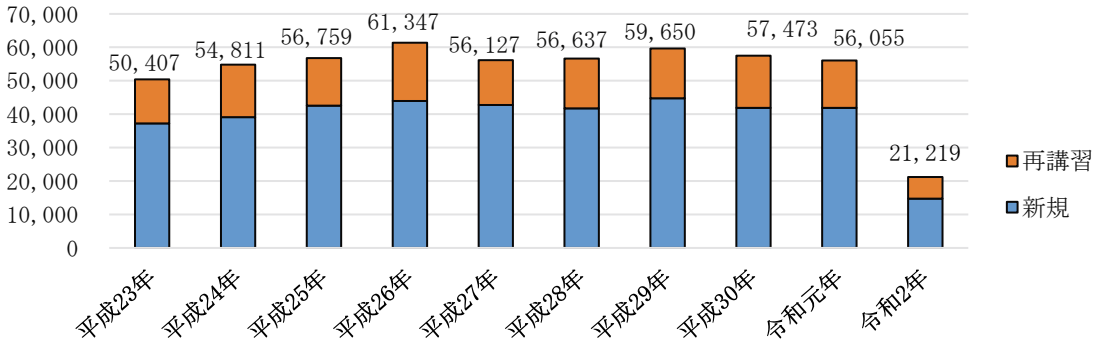
令和２年中　応急手当講習実施状況

講　習　種　類	実施回数(回)	新規(人)	再講習(人)	年中延べ(人)	延受講者(人)
計	**1,464**	**14,754**	**6,465**	**21,219**	**1,224,552**
救命入門コース	120	2,001	－	2,001	52,265
普通救命講習	527	4,583	1,582	6,165	837,268
上級救命講習	58	645	118	763	30,836
応急手当普及員講習	20	268	－	268	14,923
応急手当普及員再講習	82	－	971	971	19,024
応急手当普及員が実施した講習	654	7,086	3,794	10,880	264,543
応急手当指導員講習	3	171	－	171	5,693

※年中延受講者数は、再受講者等を含む。

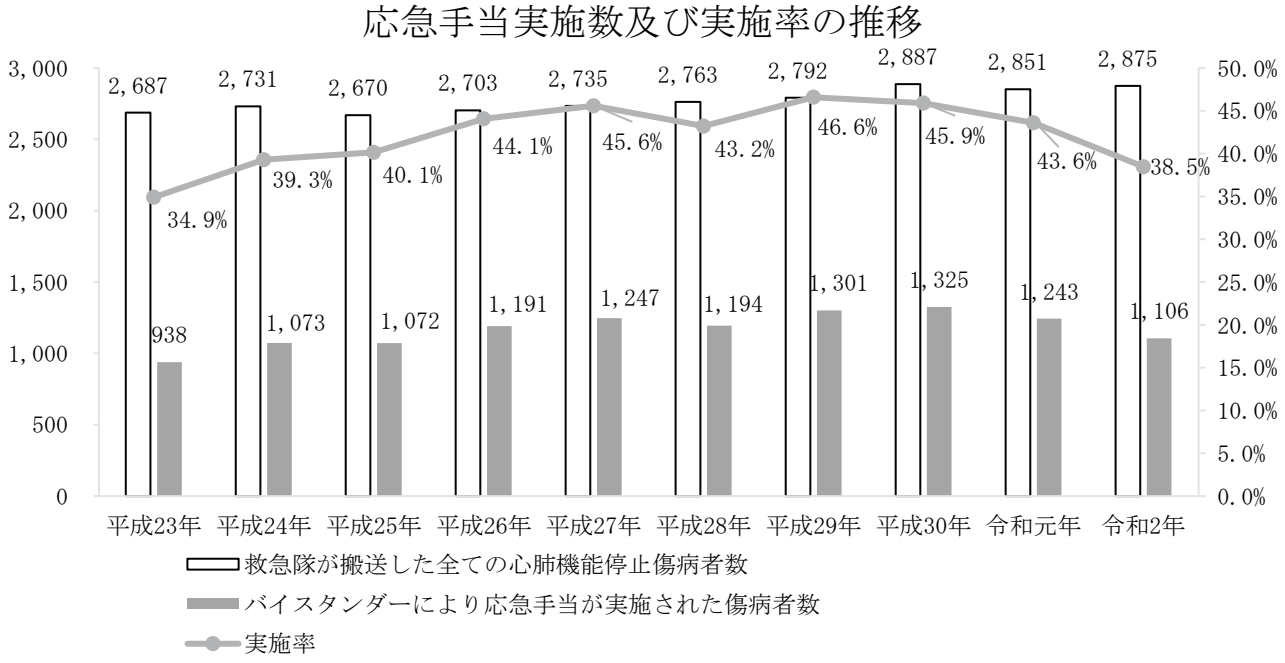
※延受講者数は平成６年４月１日から令和２年 12 月末までの総受講者数。

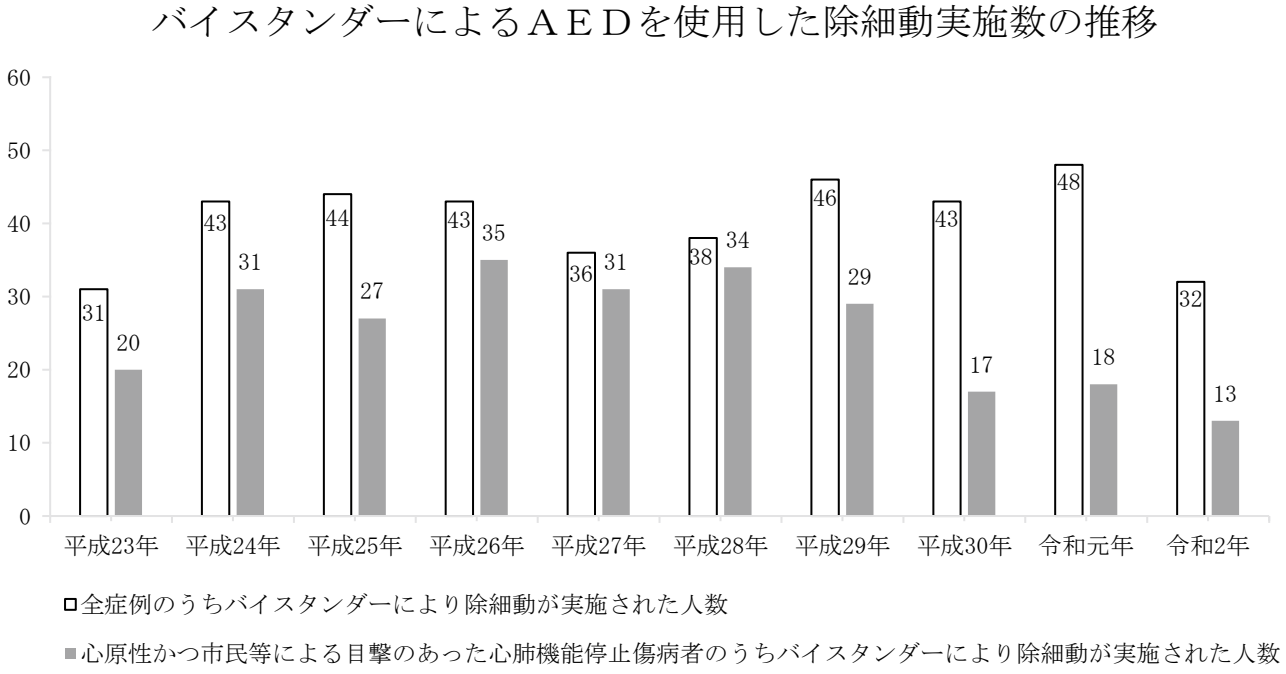
過去 10 年間における応急手当講習修了者数の推移



(2)　応急手当実施率

心肺機能停止傷病者の救命においては、救急隊が到着するまでの間に、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）により早期に応急手当が実施されることが重要である。令和２年中にバイスタンダーによる応急手当が実施された傷病者数は、救急隊が搬送した全ての心肺機能停止傷病者の 38.5%に当たる 1,106 人となっている。

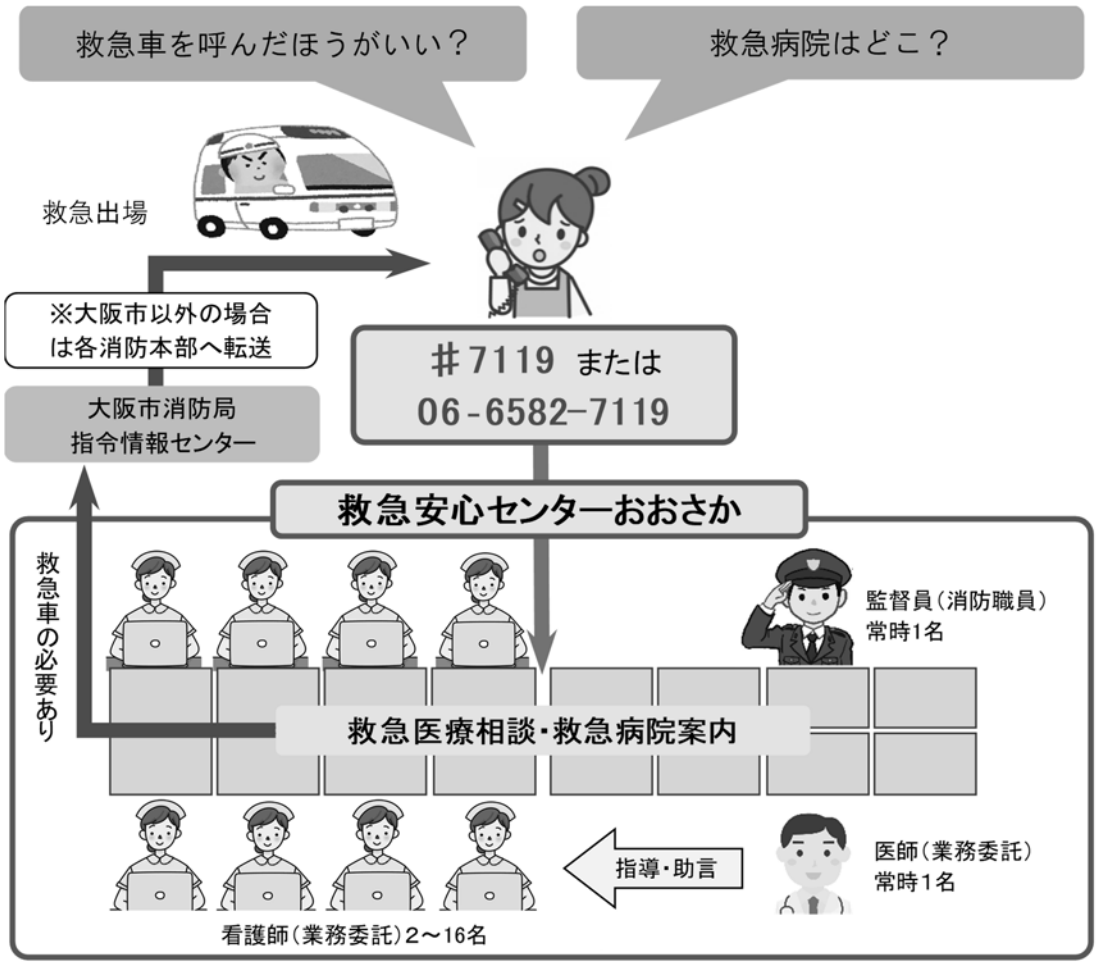




８．救急安心センターおおさか

救急安心センターおおさかは、突然の病気やケガで、救急車を呼んだ方がいいのか？病院に行った方がいいのか？近くの病院はどこ？応急手当の方法は？など、判断に迷ったときにアドバイスを受けることができる電話相談窓口として、平成 21 年 10 月１日から大阪市消防局内に開設し、平成 22 年 12 月１日以降は、大阪府内全市町村の共同運営によって対象地域を大阪府内全域に拡大している。

救急安心センターおおさかでは、専用電話回線（＃7119 又は 06-6582-7119）により、大阪府域住民からの救急医療相談及び医療機関等の問合せに、開設以来、相談員及び看護師が医師の支援体制のもと 24 時間 365 日体制で対応してきたが、年々増加する救急医療相談に適切に対応するため、令和２年４月からはすべての着信に看護師が直接対応する体制に改めた。それにより相談時間が短縮され、緊急性の高い症状の傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにすることに加え、住民が適切なタイミングで医療機関を受診できるよう支援することによって、自覚症状の乏しい潜在する重症者を救護し、一人でも多くの住民に安全・安心を提供している。



９．小児救急支援アプリ

大切なお子様が突然の病気やケガをした場合に、市民が自ら緊急性の判断をできるようなシステムを構築することを目的に、次の関係機関と共同でスマートフォン専用の無料アプリである「小児救急支援アプリ（Android 版）」を研究・開発し、大阪市内を対象地域として、平成 27 年９月９日から運用を開始した。

その後、平成 28 年３月１日から iPhone 版の運用を開始し、平成 28 年４月１日からは、救急安心センターおおさか事業の一環として、対象地域を大阪府内全域に拡大している。

このアプリの特長としては、「救急車を呼んだ方がいい？」「近くの医療機関はどこ？」など困ったときに、アプリ画面に表示される症状をチェックすることで誰でも簡単に「緊急性」を判断することができ、緊急性が高い場合は 119 番通報を、また 119 番通報をためらった場合でも救急安心センターおおさかへ相談するよう促すなど利用者が次に取るべき受診行動に素早く誘導することができるというものである。さらに、緊急性が低い場合でも、症状に応じた近くの医療機関（大阪府内）を地図に表示して案内することができるものである。

（利用料無料、通信料別途必要）

＜共同研究・開発機関＞

◇　大阪大学医学部　　◇　大阪市立大学医学部

◇　大阪市消防局　救急部救急課

〔平成 27 年度（一財）救急振興財団研究事業〕

利用状況（平成 27 年９月９日～令和２年 12 月 31 日）

ダウンロード数	アクセス数	アクセス後の行動内容						
		119 番	#7119	#8000	医療機関検索	科目検索	様子をみる	合計
34,012	89,800	173	3,285	52	13,869	2,696	4,139	24,214

※「アクセス数」と「アクセス後の行動内容」の合計が一致しないのは、利用者がアクセスはしたものの、表記カテゴリーのボタンを押下する前に、アプリ操作を終了したことが原因であると推測される。

10. 予防救急

予防救急とは、高齢化の進展にともない救急件数が増加している中、安全だと思いがちな家庭内での転倒・転落によるケガや熱中症などの疾病を、「少しの注意と心がけ」で未然に防ぐことを目的としている。そのために救急隊の救急活動記録等のデータを分析し、発生原因や傾向、予防策を導き、ラジオや新聞をはじめとする様々な媒体や、救命講習会、防火訪問などの機会を通じて市民に情報提供し、さらなる安心・安全を推進する施策であり、あわせて救急出場件数の抑制も図っている。

11. 患者等搬送事業の認定と指導

患者等搬送事業は、救命処置など緊急性を必要とする消防の救急とは異なり、原則として緊急性を必要としない傷病者や障がい者、高齢者などに対し、民間の事業者が搬送用自動車を使用して移動手段を提供する事業である。

平成５年６月、当局は患者等の安全を確保するため、「患者等搬送事業の指導及び認定に関する要綱」を定めて、消防機関との連絡体制、乗務員に対する応急手当の講習、患者等搬送用自動車の構造など、一定の基準に適合する患者等搬送事業の認定を行うとともに必要な指導にあたっており、令和３年３月１日現在、26 社を認定している。

なお、当局が認定した上記の事業所が利用者の安全とサービスの向上を目指して、平成６年 11 月１日に「大阪市患者等搬送事業者協会」を設立し、現在は５社が加盟している。

また、平成８年８月 29 日に当局と同協会の間で、「震災等大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定書」を締結し、大規模災害時の搬送体制の強化を図っている。

12. 関係機関等との協調

救急業務の円滑な推進を図るためには、消防機関、医療機関、他の行政機関等が一体となって協調することが必要である。

当局では、「大阪府救急医療対策審議会」、「大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会」「大阪府大阪市地域メディカルコントロール協議会」等に参画して、救急医療体制の整備及び、救急救命士をはじめとする救急隊員の教育等を検討する一方、大阪府医師会、大阪市救急医療事業団、日本赤十字社大阪府支部、その他関係機関と常に連絡調整を図っている。

図1　救急医療情報システム概要図

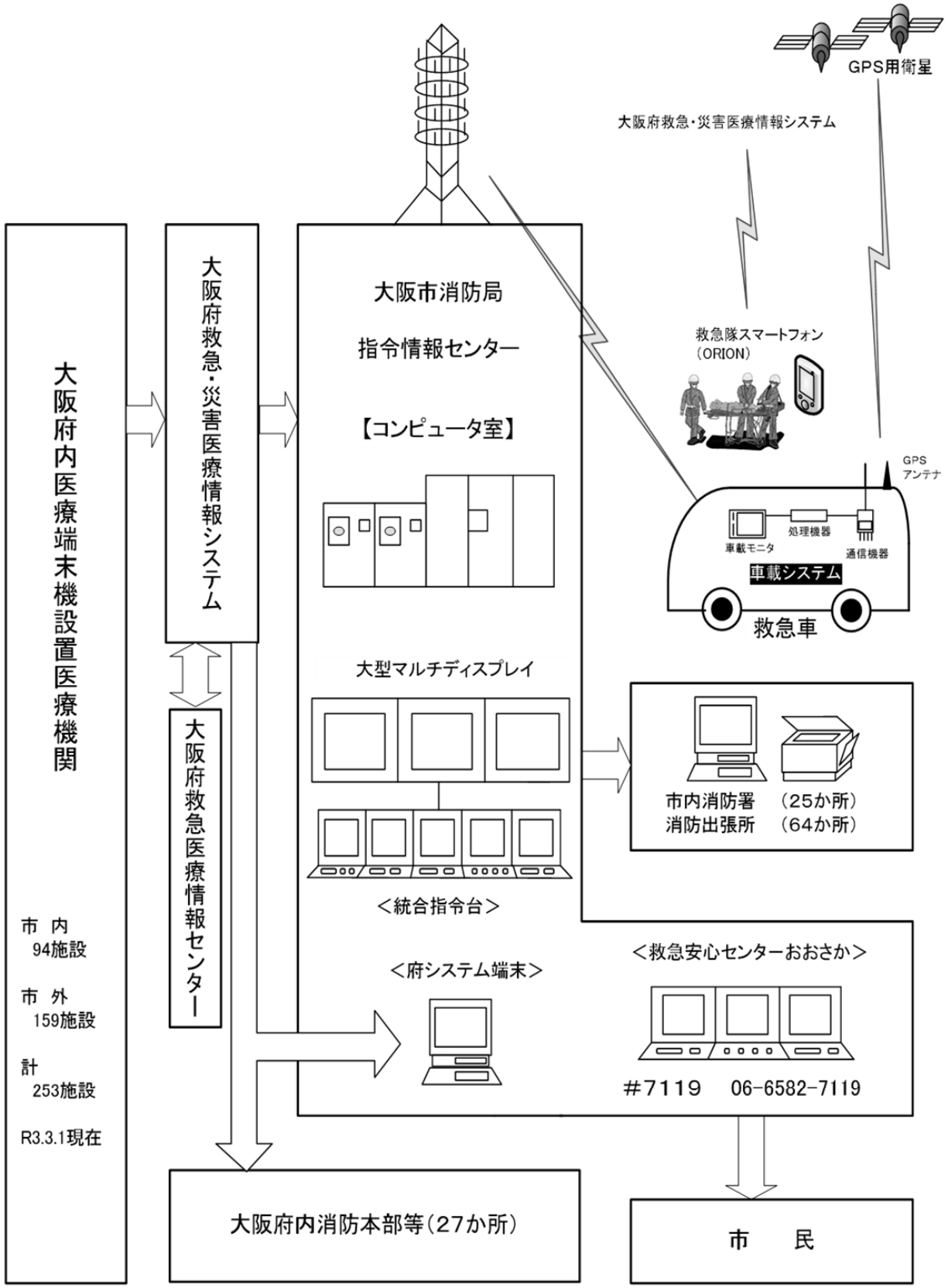


表1　　救急隊配置状況（令和3年3月1日現在）

救急隊名	配置署所	救急隊名	配置署所
本部第1救急隊	消防局　九条庁舎	東成第1救急隊	東成消防署
本部第2救急隊	〃	東成第2救急隊	〃
北救急隊	北消防署	生野救急隊	生野消防署
南森町救急隊	〃　南森町出張所	中川救急隊	〃　中川出張所
浮田救急隊	〃　浮田出張所	巽救急隊	〃　巽出張所
大淀町救急隊	〃　大淀町出張所	旭第1救急隊	旭消防署
都島第1救急隊	都島消防署	旭第2救急隊	〃
都島第2救急隊	〃	城東第1救急隊	城東消防署
東野田救急隊	〃　東野田出張所	城東第2救急隊	〃
福島救急隊	福島消防署	中浜救急隊	〃　中浜出張所
海老江救急隊	〃　海老江出張所	鶴見第1救急隊	鶴見消防署
此花第1救急隊	此花消防署	鶴見第2救急隊	〃
此花第2救急隊	〃	阿倍野第1救急隊	阿倍野消防署
中央救急隊	中央消防署	阿倍野第2救急隊	〃
道頓堀救急隊	〃　道頓堀出張所	阪南救急隊	〃　阪南出張所
上町救急隊	〃　上町出張所	住之江第1救急隊	住之江消防署
西救急隊	西消防署	住之江第2救急隊	〃
江戸堀救急隊	〃　江戸堀出張所	南港救急隊	〃　南港出張所
新町救急隊	〃　新町出張所	住吉第1救急隊	住吉消防署
港救急隊	港消防署	住吉第2救急隊	〃
大正救急隊	大正消防署	苅田救急隊	〃　苅田出張所
天王寺第1救急隊	天王寺消防署	東住吉第1救急隊	東住吉消防署
天王寺第2救急隊	〃	東住吉第2救急隊	〃
浪速本署第1救急隊	浪速消防署	杭全救急隊	〃　杭全出張所
浪速本署第2救急隊	〃	平野第1救急隊	平野消防署
恵美須救急隊	〃　恵美須出張所	平野第2救急隊	〃
浪速出張所救急隊	〃　浪速出張所	長吉救急隊	〃　長吉出張所
西淀川救急隊	西淀川消防署	喜連救急隊	〃　喜連出張所
大和田救急隊	〃　大和田出張所	西成第1救急隊	西成消防署
淀川第1救急隊	淀川消防署	西成第2救急隊	〃
淀川第2救急隊	〃	海道第1救急隊	〃　海道出張所
加島救急隊	〃　加島出張所	海道第2救急隊	〃　海道出張所
東淀川救急隊	東淀川消防署	津守救急隊	〃　津守出張所
小松救急隊	〃　小松出張所	水上救急隊	水上消防署
西淡路救急隊	〃　西淡路出張所		

表2

救急活動用資器材

分類	品名	分類	品名	
観察用資器材	血圧計 血中酸素飽和度測定器 検眼ライト 患者監視装置 体温計 聴診器 血糖値測定器	保温・搬送用資器材	屈折担架(サブストレッチャー) 脚屈伸式ストレッチャー(メインストレッチャー) ターポリン担架 まくら タオルケット 保温用毛布 雨おおい	
呼吸・循環管理用資器材	手動引金式人工呼吸器一式 手動式人工呼吸器一式 自動式人工呼吸器一式 二連式流量計付加湿酸素吸入装置一式 経鼻エアウェイ 経口エアウェイ ラリンゲアルマスク 食道閉鎖式エアウェイ 気管内チューブ ビデオ硬性挿管用喉頭鏡 喉頭鏡 マギール鉗子 吸引器一式 呼気二酸化炭素測定器具	感染防止・消毒用資器材	手動式噴霧消毒器 救急車内消毒装置 殺菌灯付白衣保管庫	
			グルコン酸クロルヘキシジン液 消毒用エタノール液 塩化ベンザルコニウム液 クレゾール石けん液 次亜塩素酸ナトリウム液 過酢酸製剤 手指消毒液	
	自動式心マッサージ器 心肺蘇生用背板 ショックパンツ 自動体外式除細動器 輸液・薬剤セット一式	その他の資器材	手袋 マスク N95マスク ゴーグル 膿盆 汚物入 手洗器 シューズカバー 臍帯クリップ 冷却剤	
創傷等保護用資器材	陰圧副子 梯状副子 頸部固定用副子 バックボード スクープストレッチャー	通信・救出用資器材	通信資器材用	携帯無線機 車載無線機 携帯電話(スマートフォン端末)
	三角巾 止血帯 伸縮包帯 網包帯 救急タオル ばんそうこう ターニケット		救出資器材用	救命浮環
	滅菌ガーゼ 不織布ガーゼ ガーゼ		その他の資器材	救急カバン リングカッター 防毒マスク 保安帽 防刃ベスト トリアージタッグ はさみ ピンセット
	生理食塩水			

表3

二次・三次救急医療機関（令和3年3月1日現在）

医療機関	所在地	医療機関	所在地
北区		港区	
加納総合病院	天神橋7-5-15	大阪みなと中央病院	磯路1-7-1
北野病院	扇町2-4-20		
済生会中津病院	芝田2-10-39	大正区	
桜橋渡辺病院	梅田2-4-32	済生会泉尾病院	北村3-4-5
住友病院	中之島5-3-20	ほくとクリニック病院	三軒家西1-18-7
行岡病院	浮田2-2-3		
		天王寺区	
都島区		第二大阪警察病院	烏ヶ辻2-6-40
□大阪市立総合医療センター	都島本通2-13-22	◇大阪警察病院	北山町10-31
神原病院	高倉町1-10-5	◇大阪赤十字病院	筆ヶ崎町5-30
協和病院	東野田町5-2-25		
聖和病院	中野町1-7-32	浪速区	
明生病院	東野田町2-4-8	愛染橋病院	日本橋5-16-15
		富永病院	湊町1-4-48
福島区		なにわ生野病院	大国1-10-3
JCHO大阪病院	福島4-2-78		
関西電力病院	福島2-1-7	西淀川区	
大阪整形外科病院	大開4-3-61	千船病院	福町3-2-39
フジタ病院	吉野2-10-11	西淀病院	野里3-5-22
松本病院	海老江2-1-36		
		淀川区	
此花区		大阪回生病院	宮原1-6-10
大阪暁明館病院	西九条5-4-8	貴生病院	西三国1-18-4
		北大阪病院	西宮原2-7-17
中央区		十三市民病院	野中北2-12-27
◇国立病院機構大阪医療センター	法円坂2-1-14		
大手前病院	大手前1-5-34	東淀川区	
脳神経外科日本橋病院	高津3-2-22	医誠会病院	菅原 6-2-25
原田病院	島之内2-17-15	淀川キリスト教病院	柴島1-7-50
高津病院	瓦屋町3-2-7		
		東成区	
西区		外科野崎病院	深江南2-20-15
大阪掖済会病院	本田2-1-10	弘善会矢木脳神経外科病院	東今里2-12-13
大野記念病院	南堀江1-26-10	中本病院	中道4-13-12
多根総合病院	九条南1-12-21	東成病院	大今里西2-7-17
日本生命病院	江之子島2-1-54	朋愛病院	大今里1-25-11
吉川病院	九条南3-29-14		

（注）□印は、三次救急医療機関
◇印は、二次救急医療機関かつ三次救急医療機関

医　療　機　関	所　在　地	医　療　機　関	所　在　地
生野区		住吉区	
アエバ外科病院	勝山南4-6-5	あびこ病院	我孫子3-3-20
生野中央病院	中川5-4-2	◇大阪急性期・総合医療センター	万代東3-1-56
育和会記念病院	巽北3-20-29	阪和記念病院	苅田7-11-11
共和病院	勝山南4-16-10	阪和住吉総合病院	南住吉3-2-9
松崎病院	新今里7-4-8	越宗整形外科病院	東粉浜3-26-6
村田病院	田島4-2-1		
		東住吉区	
旭区		東住吉森本病院	鷹合3-2-66
中野こども病院	新森4-13-17	東和病院	田辺4-13-15
福島病院	千林2-4-22		
藤立病院	大宮5-4-24	平野区	
牧病院	新森7-10-28	植田産婦人科	平野宮町2-8-8
		正和病院	瓜破東1-5-5
城東区		長吉総合病院	長吉長原 1-2-34
済生会野江病院	古市1-3-25	平野若葉会病院	瓜破2-1-19
サトウ病院	東中浜1-2-23	緑風会病院	背戸口1-18-13
城東中央病院	鴨野西5-13-47		
東大阪病院	中央1-7-22	西成区	
牧整形外科病院	関目6-15-30	杏林記念病院	天下茶屋1-18-24
森之宮病院	森之宮2-1-88	思温病院	松1-1-31
		大和中央病院	長橋1-2-7
鶴見区		藤田記念病院	長橋3-6-45
藍の都脳神経外科病院	放出東2-21-16	山本第三病院	南津守4-5-20
コープおおさか病院	鶴見3-6-22	まちだ胃腸病院	山王1-1-15
新協和病院	今津南1-5-8		
本田病院	鶴見4-1-30		
和田病院	横堤3-10-18		
阿倍野区			
◇大阪市立大学医学部附属病院	旭町1-5-7		
相原第二病院	阿部野筋3-12-10		
大阪鉄道病院	松崎町1-2-22		
住之江区			
南港病院	北加賀屋2-11-15		
南大阪病院	東加賀屋1-18-18		
友愛会病院	浜口西3-5-10		
計　94　か所			

表4

初期救急医療機関

（令和3年3月1日現在）

診療所名	所在地	診療科目	診療受付時間	
中央急病診療所	西区新町4-10-13 TEL 6534－0321	内・小	休日 土(祝・年末年始除く) 平日	17～翌5:30 15～翌5:30 22～翌5:30
		眼・耳	休日 土(祝・年末年始除く) 平日	10～21:30 15～21:30 22～翌0:30
都島休日急病診療所	都島区都島南通1-24-23 TEL 6928－3333	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
西九条休日急病診療所	此花区西九条5-4-25 TEL 6464－2111	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
十三休日急病診療所	淀川区十三東1-11-26 TEL 6304－7883	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
今里休日急病診療所	東成区大今里西3-6-6 TEL 6972－0767	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
沢之町休日急病診療所	住吉区千躰2-2-6 TEL 6672－6021	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
中野休日急病診療所	東住吉区中野2-1-20 TEL 6705－1612	内・小	日曜・祝日 年末年始	10～16:30
		小	平日	20:30～23

表5

休日・夜間緊急歯科診療所

（令和3年3月1日現在）

診療所名	所在地	診療科目	診療受付時間	
大阪府歯科医師会口腔保健センター附属検査診療所休日緊急診療所	天王寺区堂ヶ芝1-3-27 TEL 6772-8886(9:30～16) TEL 6774-2600(21～翌3:00)	歯科	休日昼間 〃 夜間 土(祝・年末年始除く) 平日	9:30～16 21～翌3:00 21～翌3:00 21～翌3:00

表6

二次・三次救急医療機関の推移

（各年 3月1日現在）

年	救急医療機関
平成28年	100
平成29年	94
平成30年	95
平成31年	94
令和元年	94
令和2年	94

救　　急　　活　　動

１．救急活動状況

(1) 救急活動状況の対前年比

令和２年中の出場件数は217,430件、搬送人員は176,633人で、前年に比べ出場件数は27,675件(11.3%減）の減少、搬送人員は26,746人（13.2%減）の減少となった。

区　　分	令和２年	令和元年	対前年比	１日当り
出　場　件　数	２１７，４３０	２４５，１０５	△２７，６７５	５９４．１
搬　送　人　員	１７６，６３３	２０３，３７９	△２６，７４６	４８２．６
現場処置人員	７，０９０	６，３５３	７３７	１９．４
医師搬送件数	９	１０	△１	０．０
資器材等輸送件数	３	０	３	０．０
不　搬　送　件　数	４１，２９１	４２，４２３	△１，１３２	１１２．８
市域内出場件数	２１７，３８４	２４５，０３４	△２７，６５０	５９３．９
市域外出場件数	４６	７１	△２５	０．１

(2) 人口１万人当りの出場件数と搬送人員の推移

令和２年中に人口１万人当たりでは790.7件出場し、642.3人搬送している。これは、市民12.7人に１件出場し、15.6人に１人搬送したことになる。

年	出　場　件　数	搬　送　人　員
平成２８年	８３６．６（１２．０　〃　）	６８０．７（１４．７　〃　）
平成２９年	８４４．１（１１．８　〃　）	６９３．４（１４．４　〃　）
平成３０年	８９０．３（１１．２　〃　）	７３７．０（１３．６　〃　）
令和元年	８９４．５（１１．２　〃　）	７４２．３（１３．５　〃　）
令和２年	７９０．７（１２．７　〃　）	６４２．３（１５．６　〃　）

２．事故種別救急活動状況

(1)　出場件数の対前年比

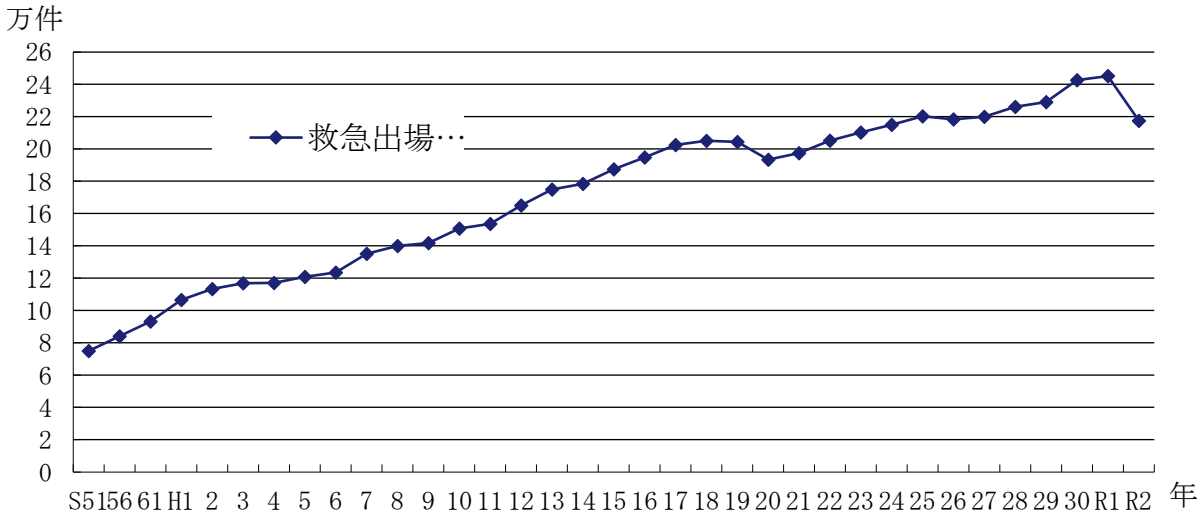
事故種別でみると、急病が147,098件と最も多く67.7%を占めており、次いで一般負傷37,390件(17.2%)、交通事故13,047件（6.0%）となり、急病は20,470 件の減少となった。なお、この３種別で197,535件出場し、全体の90.8%を占めている。

（ ）は%

事故種別	令　和　２　年		令　和　元　年		対前年比	
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
計	**217,430**	**176,633**	**245,105**	**203,379**	△27,675	△26,746
	(100.0)	**(100.0)**	**(100.0)**	**(100.0)**		
火　　災	811	160	867	181	△56	△21
	(0.4)	(0.1)	(0.4)	(0.1)		
自然災害	12	9	4	2	8	7
	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)		
水　　難	95	23	89	30	6	△7
	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)		
交　　通	13,047	10,741	14,556	12,214	△1,509	△1,473
	(6.0)	(6.1)	(5.9)	(6.0)		
労働災害	1,347	1,300	1,693	1,639	△346	△339
	(0.6)	(0.7)	(0.7)	(0.8)		
運動競技	580	568	1,007	993	△6	△425
	(0.3)	(0.3)	(0.4)	(0.5)		
一般負傷	37,390	27,664	40,344	30,753	△2,987	△3,089
	(17.2)	(15.7)	(16.4)	(15.1)		
加　　害	2,224	1,382	2,495	1,563	△97	△181
	(1.0)	(0.8)	(1.1)	(0.8)		
自損行為	2,227	1,419	2,173	1,416	△54	3
	(1.0)	(0.8)	(0.9)	(0.7)		
急　　病	147,098	121,756	167,568	141,307	△20470	△19,551
	(67.7)	(68.9)	(68.4)	(69.5)		
そ の 他	12,599	11,611	14,309	13,281	△1710	△1,670
	(5.8)	(6.6)	(5.8)	(6.5)		

(2)　救急出場件数の推移

救急出場件数は、平成 26 年以降初となる減少に転じ、令和２年は前年比 11.3%減少し、217,430 件となった。

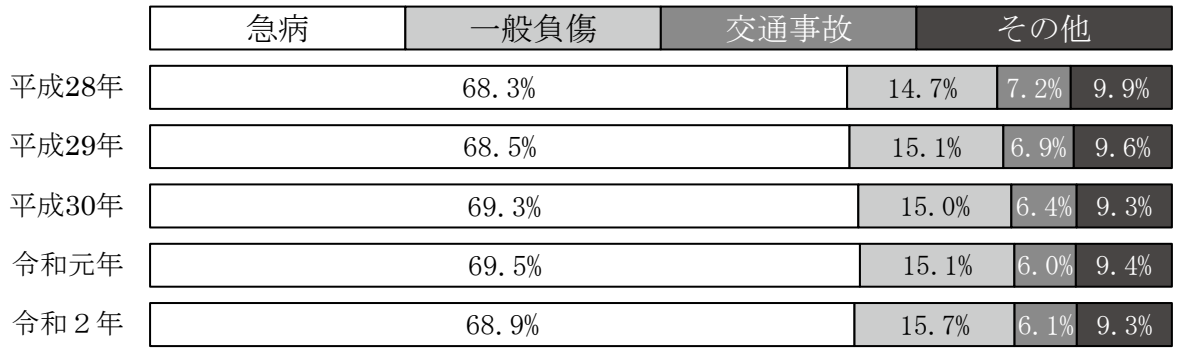


(3)　事故種別搬送人員の推移

年	出場件数(件)	搬送人員(人)	内訳(人) 急病	一般負傷	交通事故	加害	自損	火災	労働災害	運動競技	水難	自然災害	その他
平成 28 年	226,048	183,938	125,543	27,076	13,182	1,824	1,415	193	1,402	956	22	8	12,317
平成 29 年	229,013	188,137	128,785	28,318	12,970	1,696	1,290	165	1,419	939	11	9	12,535
平成 30 年	242,612	200,822	139,223	30,060	12,821	1,724	1,229	186	1,645	984	36	177	12,737
令和元年	245,105	203,379	141,307	30,753	12,214	1,563	1,416	181	1,639	993	30	2	13,281
令和２年	217,430	176,633	121,756	27,664	10,741	1,382	1,419	160	1,300	568	23	9	11,611

(4)　事故種別搬送人員構成比の推移

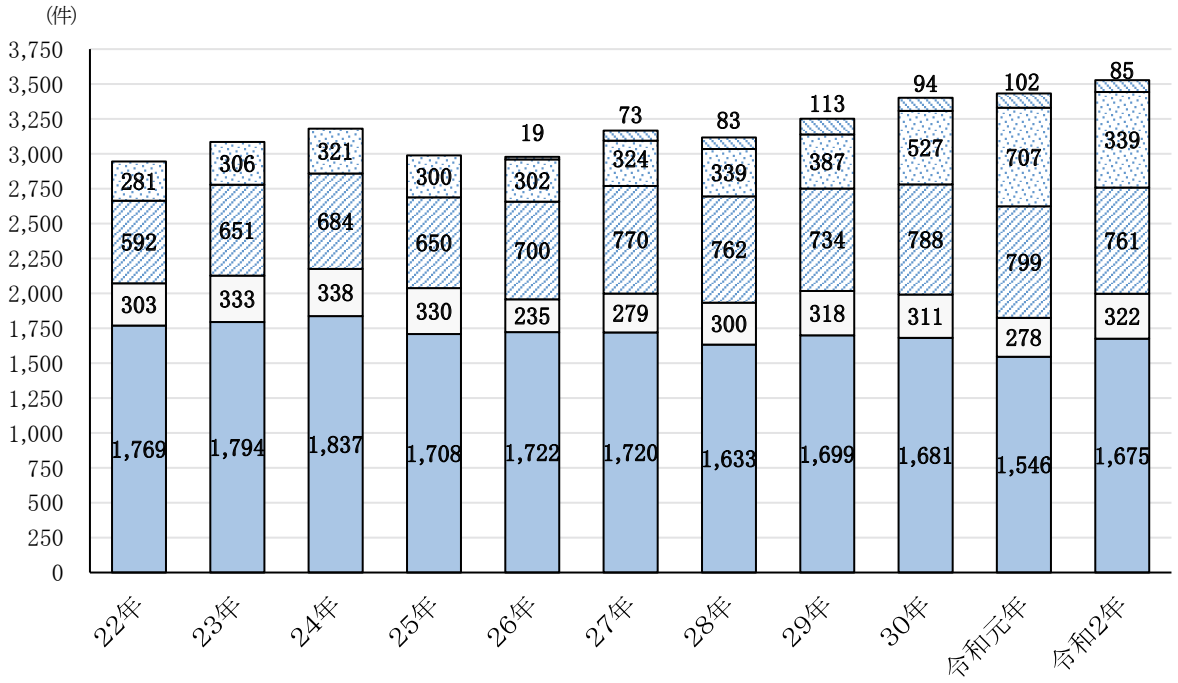
急病、一般負傷の割合が全体の 84.6%を占めている。



３．救急救命士活動状況と救命率

(1) 救急救命処置実施数の推移

令和２年中の「器具による気道確保」は1,675件、「除細動」は322件、「静脈路確保」は761件、「薬剤投与」は684件、「ブドウ糖投与」は85件、合計3,527件であった。



	計	器具による気道確保	除細動	静脈路確保	薬剤投与	ブドウ糖投与
平成２２年	２，９４５	１，７６９	３０３	５９２	２８１	－
平成２３年	３，０８４	１，７９４	３３３	６５１	３０６	－
平成２４年	３，１８０	１，８３７	３３８	６８４	３２１	－
平成２５年	２，９８８	１，７０８	３３０	６５０	３００	－
平成２６年	２，９５９	１，７２２	２３５	７００	３０２	１９
平成２７年	３，１６６	１，７２０	２７９	７７０	３２４	７３
平成２８年	３，１１７	１，６３３	３００	７６２	３３９	８３
平成２９年	３，２５１	１，６９９	３１８	７３４	３８７	１１３
平成３０年	３，４０１	１，６８１	３１１	７８８	５２７	９４
令和元年	３，４３２	１，５４６	２７８	７９９	７０７	１０２
令和２年	３，５２７	１，６７５	３２２	７６１	６８４	８５

(2) 主な心肺機能停止前の救急救命処置実施状況

血糖測定器を用いた血糖測定　425 件

低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与　85 件

ショック及びクラッシュ症候群を疑う傷病者に対する静脈路確保及び輸液　16 件

(3) 心肺機能停止傷病者の生存率等の状況

令和元年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者のうち、心原性かつ市民により目撃のあった症例の１ヵ月後生存率は11.4%、１ヵ月後社会復帰率については6.4%となっている。

年	心原性かつ市民により目撃のあった心肺機能停止傷病者数（人）	１ヵ月後生存者数（人）	１ヵ月後生存率（%）	１ヵ月後社会復帰者数（人）	１ヵ月後社会復帰率（%）
平成２４年	６７８	１０５	１５．５	６７	９．９
平成２５年	６３３	８６	１３．６	５９	９．３
平成２６年	６９１	１０５	１５．２	７２	１０．４
平成２７年	７４４	１２２	１６．４	９４	１２．６
平成２８年	７５４	１０８	１４．３	８７	１１．５
平成２９年	７４１	１１９	１６．１	９１	１２．３
平成３０年	７６６	１２３	１６．１	８０	１０．４
令和元年	７５０	１１４	１５．２	７９	１０．５
令和２年	７３８	８４	１１．４	４７	６．４

４．救急出場件数の高順位

救急出場件数については、救急隊別では、海道第１救急隊の出場が 4,700 件と最多で、１日平均では 12.8 件出場している。

行政区別では、西成区が 19,485 件と最多であり、１日当りの出場件数は 53.2 件であった。また、各区の平均出場件数は、9,059 件であった。

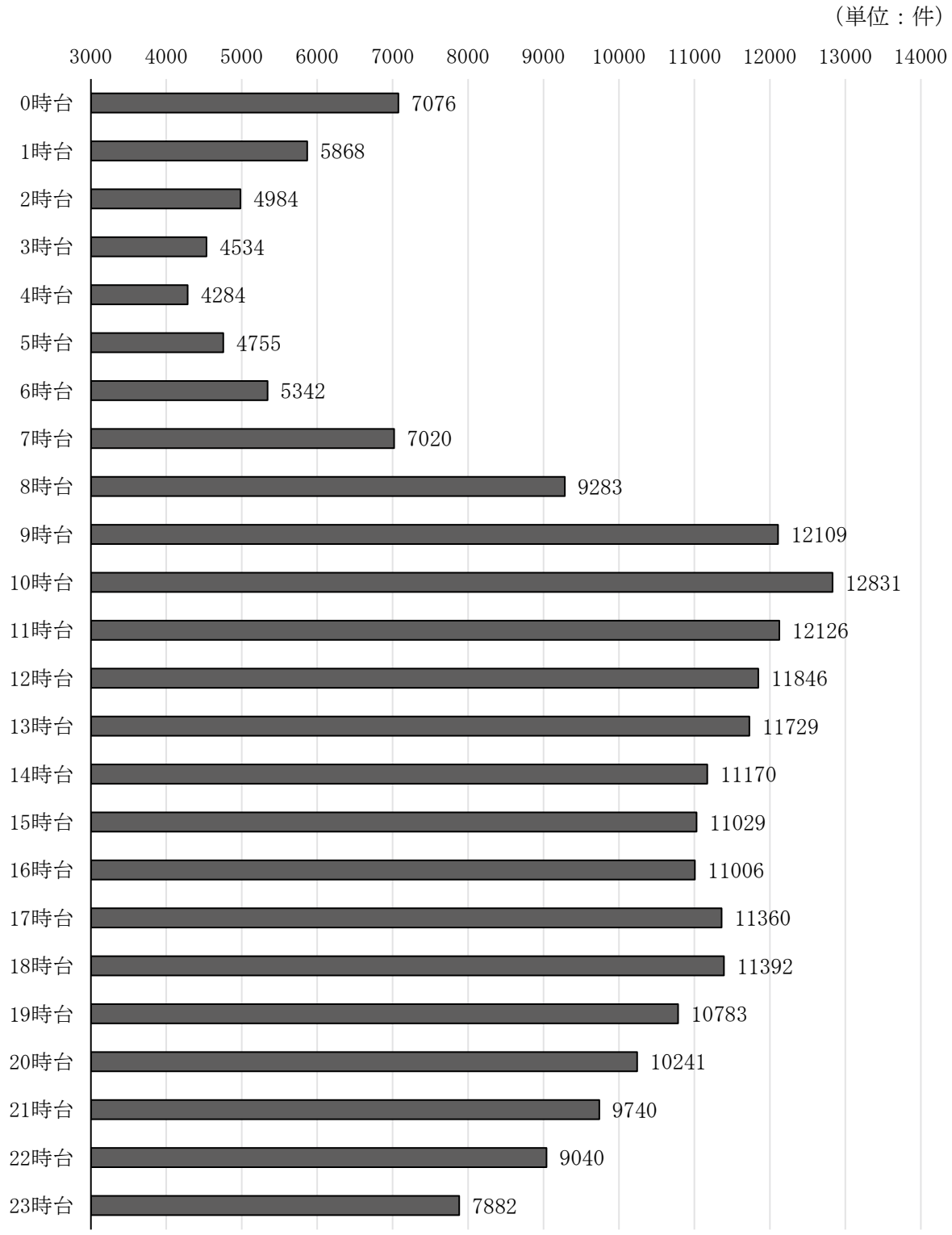
日別では、８月 17 日が 861 件と最多であり、１日当りの平均出場件数は 594.1 件であった。

時間別では、10 時台が 12,831 件と最多で 1.7 分に１件の出場となっている。

区　　分	第１位	第２位	第３位	平均	備考
隊別出場件数	海道１	海道２	住之江１		第２表
	4,700 件	4,491 件	4,334 件	3,151 件	参　照
(1日当りの出場件数)	(12.8)	(12.3)	(11.8)	(8.6)	
行政区別出場件数	西成区	平野区	北区		第５表
	19,485 件	14,803 件	14,591 件	9,059 件	参　照
(1日当りの出場件数)	(53.2)	(40.4)	(39.9)	(24.8)	
日別出場件数	８月 17 日	１月６日	１月４日		第９表
					参　照
	861 件	853 件	808 件	594.1 件	
時間別出場件数	10 時台	11 時台	９時台		第６表
	12,831 件	12,126 件	12,109 件	9,059 件	参　照
(出場頻度)	(1.7 分に１件)	(1.8 分に１件)	(1.8 分に１件)	(2.4 分に１件)	

５．時間別出場件数

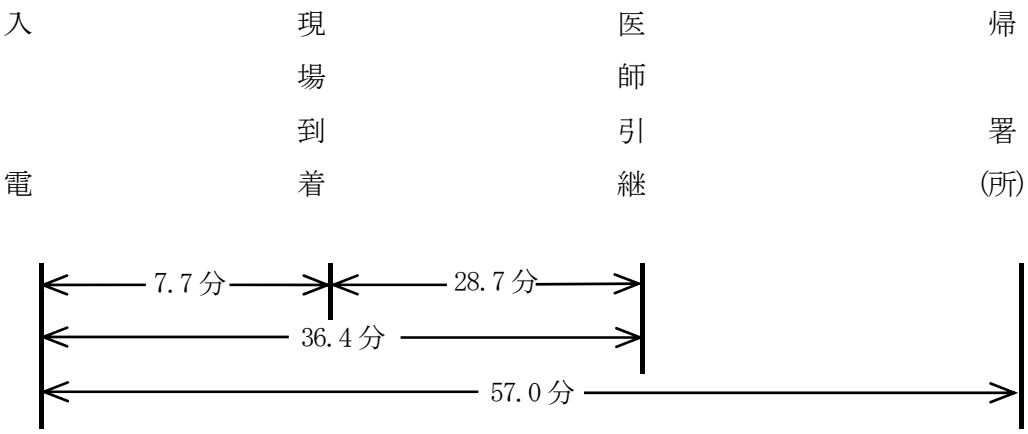
出場件数を時間別のグラフでみると、10 時台が最多となり、４時台が最少となっている。



６．救急活動所要時間

⑴ 入電から帰署までの平均所要時間

１１９番入電から救急現場到着、搬送先医療機関の医師に引継ぐまでの活動所要時間はそれぞれ7.7分、36.4分となっている。



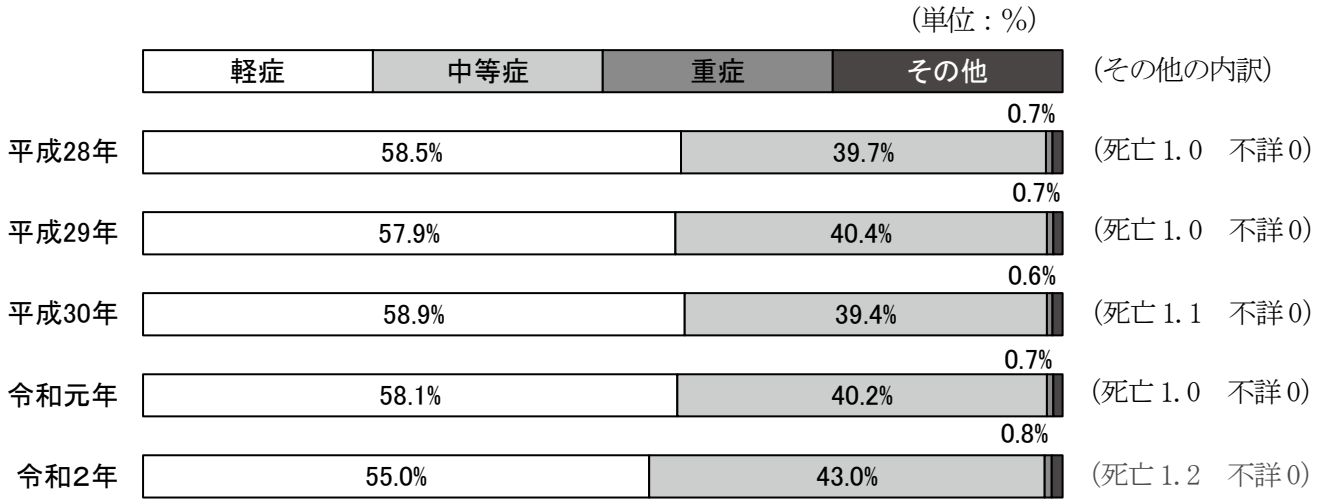
⑵ 救急車が出場してから病院に到着するまでの時間別構成比の推移

（単位：%）

年	20分未満	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上
平成28年	11.3	41.2	43.2	3.9	0.4
平成29年	11.8	42.8	41.9	3.2	0.3
平成30年	11.7	43.2	41.8	3.1	0.2
令和元年	12.2	43.7	40.9	3.0	0.2
令和２年	3.2	33.2	57.3	5.9	0.5

7．程度別搬送状況

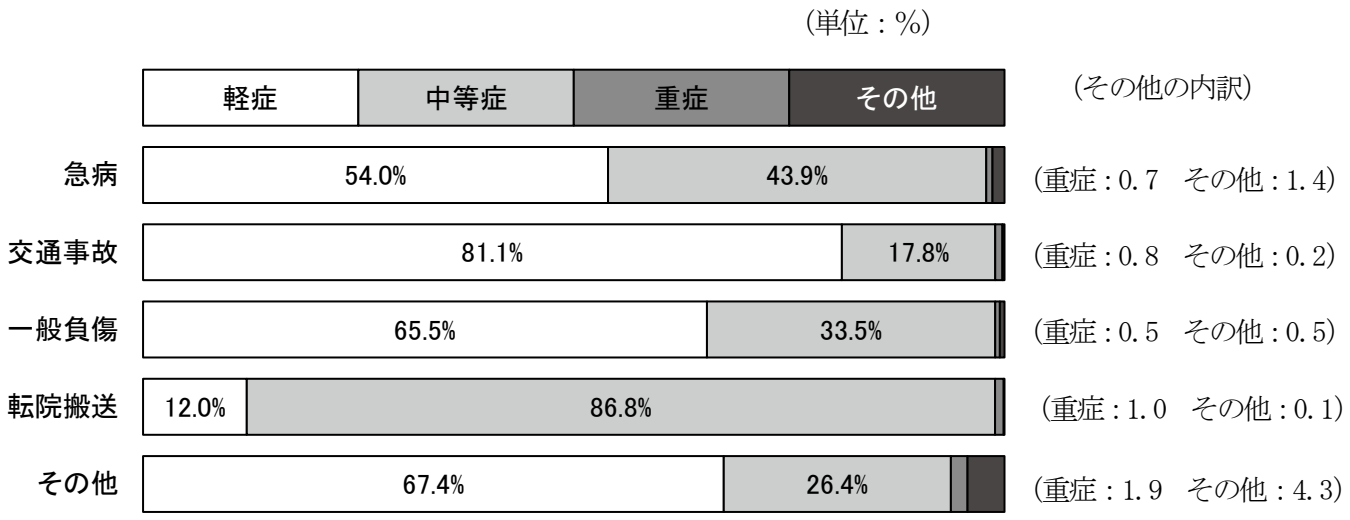
(1) 搬送人員構成比の推移



(2) 事故種別搬送人員の構成比

搬送人員を事故種別でみると、交通事故、一般負傷では軽症の割合が高く、それぞれ 81.1% (8,713 人)、65.5% (18,108 人) を占めている。

一方、急病では軽症の割合は 54.0% (65,719 人) と交通事故、一般負傷に比べて低く、中等症については 43.9% (53,458 人) と高くなっている。



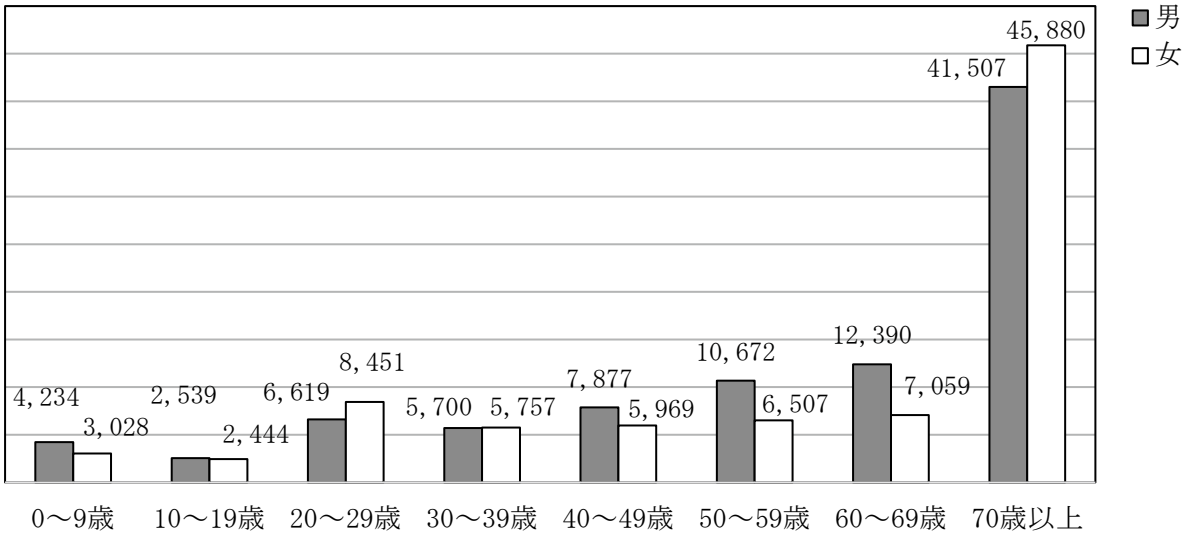
８．性別・年齢層別搬送状況

(1) 性別・年齢層別搬送人員

搬送人員を性別でみると、男性が 91,538 人（51.8%）、女性が 85,095 人（48.2%）となり、60 歳代までは男性が多い傾向を示すが、70 歳以上では女性が多い。

年齢層の性別でみると、男性、女性共に 70 歳以上がそれぞれ 41,507 人（45.3%）、45,880 人（53.9%）と最も多くなっている。

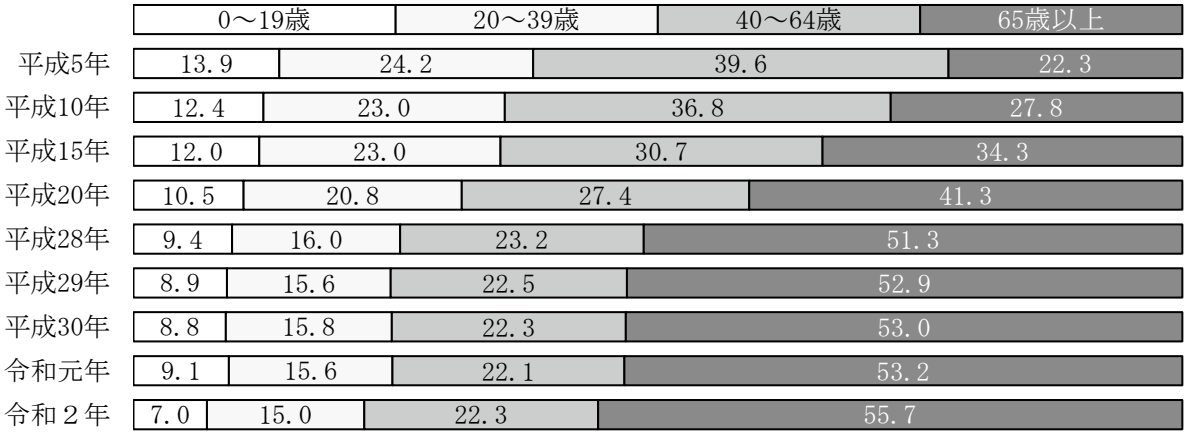
（単位：人）



(2) 搬送人員の年齢層別構成比の推移

搬送人員を年齢層別でみると、65 歳以上の高齢者の割合は 55.7%（98,465 人）となり、年々増加している。

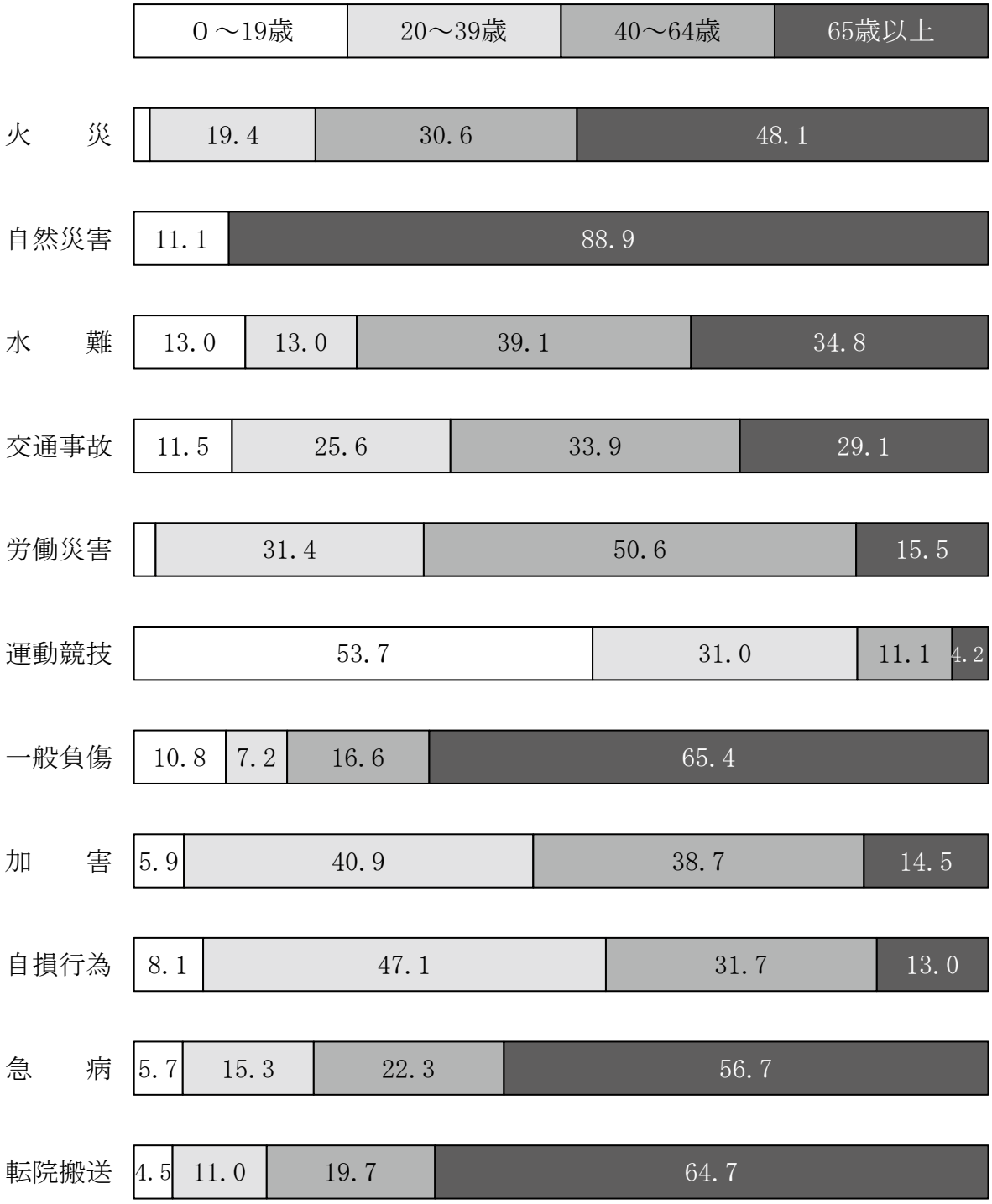
（単位：%）



(3) 事故種別・年齢層別構成比

年齢層別の搬送人員を事故種別の割合でみると、急病、一般負傷で65歳以上は、それぞれ56.7%(69,021人)、65.4%(18,101人)と多くを占めており、交通事故では40歳から64歳までが33.9%(3,639人)と多くなっている。

(単位：%)



９．医療機関開設主体別搬送状況

傷病者を収容した医療機関は、私的医療機関が 138,054 人で 78.6%を占めている。

（単位：人）

区分	計	国立	公立	左記以外の公的	私的	その他
計	**176,633**	**8,576**	**1,791**	**28,209**	**138,054**	**3**
二次・三次救急医療機関	164,613	8,391	1,723	19,498	135,001	－
初期救急医療機関	511	33	1	－	477	－
その他の医療機関	11,506	152	67	8,711	2,576	－
その他の場所	3	－	－	－	－	3

10．転院搬送状況の推移

転院搬送は、医療機関からの要請により、当該医療機関に収容されている傷病者を他の医療機関へ搬送することで、11,611 人と、全搬送人員の 6.6%を占めている。

また転院理由は、当該医療機関での処置困難が 8,581 人（73.9%）と７割を超え、次に専門外が 1,513 人（13.0%）となっている。

年	計（人）	全搬送人員に対する構成比(%)	理由別（人）					後送（人）
			ベッド満床	専門外	病床なし	処置困難	その他	
平成 28 年	12,317	6.7	361	1,849	367	8,307	422	1,011
平成 29 年	12,535	6.7	313	1,999	353	8,549	415	906
平成 30 年	12,737	6.3	327	1,852	342	9,021	382	813
令和元年	13,281	6.5	279	1,875	287	9,615	381	844
令和２年	11,611	6.6	376	1,513	227	8,581	433	481

11. 転送状況の推移

(1) 回数別搬送人員

転送とは、何らかの理由により、救急隊が当初搬送した医療機関等で収容できなかったため、当該救急隊が継続して他の医療機関等へ搬送した場合をいい、令和２年中は411人と、全搬送人員の0.2%となっている。

(単位：人)

年	転送なし (A)	転送あり					搬送人員 (C)=(A)+(B)	転送率(%) (B)／(C)×100
		１回	２回	３回	４回	小計 (B)		
平成28年	183,353	577	8	－	－	585	183,938	0.3
平成29年	187,677	449	11	－	－	460	188,137	0.2
平成30年	200,379	436	7	－	－	443	200,822	0.2
令和元年	202,922	451	6	－	－	457	203,379	0.2
令和２年	176,222	406	5	－	－	411	176,363	0.2

(2) 理由別転送回数

転送理由は、処置困難が199回と最も多く、全転送回数の48.4%となっている。

(単位：回)

年	計	ベッド満床	専門外	処置困難	その他
平成28年	593	25	247	239	82
平成29年	471	31	175	193	72
平成30年	450	29	174	188	59
令和元年	463	24	187	211	41
令和２年	411	24	108	199	80

12. 要保護傷病者搬送状況の推移

令和元年中の要保護傷病者の搬送人員は1,012 人であり、割合としては全搬送人員の0.6%となっている。

（単位：人）

年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和２年
要保護傷病者搬送人員数	１，４５０	１，１８９	１，１６９	１，１９８	１，０１２

※要保護傷病者

・生活保護法に定める要保護者の傷病者（ただし、被保護者を除く）

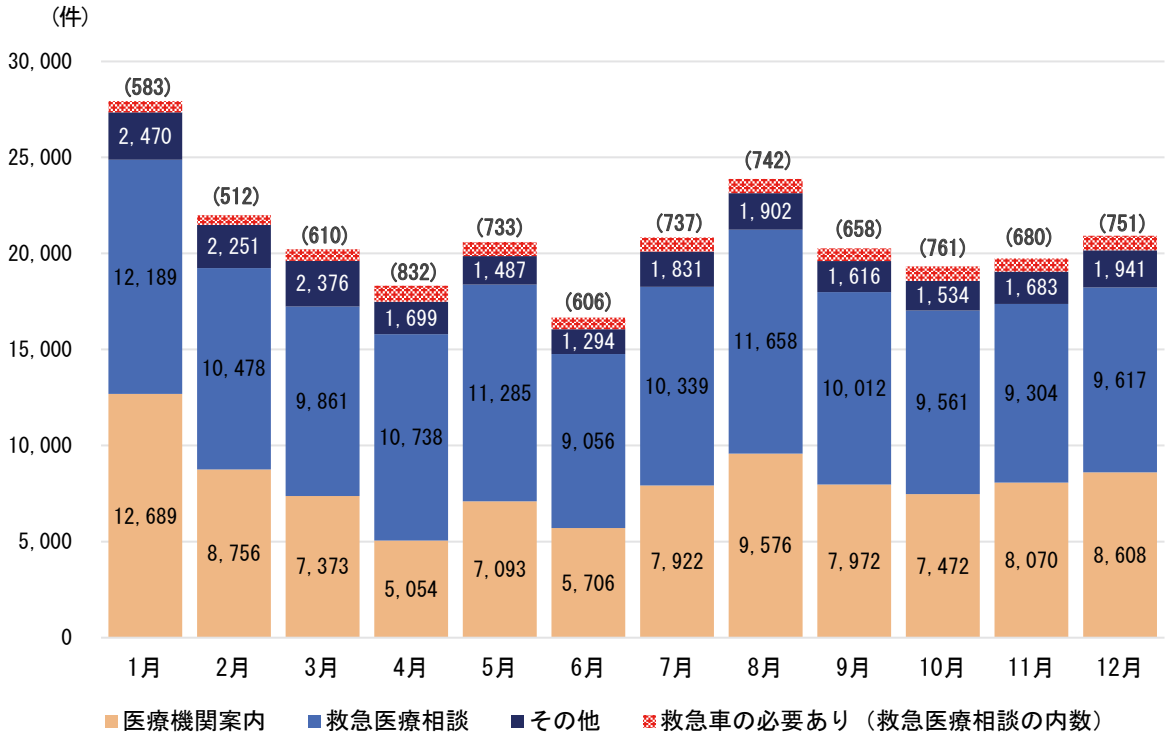
・行旅病人及び行旅死亡人取扱法に定める行旅病人又は行旅死亡人に準ずる者

救急安心センターおおさか

１．救急安心センターおおさか利用状況

(1) 月別利用状況

１月の利用が最も多く、６月の利用が最も少なかった。



(2) 月別利用状況の詳細

全着信件数 242,473 件の内、医療機関案内が 96,291 件 (39.7%)、救急医療相談が 124,098 件 (51.2%) であり、救急車の必要ありと判断した件数が 8,205 件 (3.4%) となっている。

(単位：件)

	全着信	医療機関案内	救急医療相談	救急車の必要あり	その他
計	**242,473**	**96,291**	**124,098**	**8,205**	**22,084**
1 月	27,348	12,689	12,189	583	2,470
2 月	21,485	8,756	10,478	512	2,251
3 月	19,610	7,373	9,861	610	2,376
4 月	17,491	5,054	10,738	832	1,699
5 月	19,865	7,093	11,285	733	1,487
6 月	16,056	5,706	9,056	606	1,294
7 月	20,092	7,922	10,339	737	1,831
8 月	23,136	9,576	11,658	742	1,902
9 月	19,600	7,972	10,012	658	1,616
10 月	18,567	7,472	9,561	761	1,534
11 月	19,057	8,070	9,304	680	1,683
12 月	20,166	8,608	9,617	751	1,941

※その他とは、誤着信、無言電話、医薬品や育児に関する相談等。

(3) 曜日別利用状況

日曜日・祝日の利用が最も多く、１日平均は1,044.8件であり、続いて土曜日が１日平均809.6件となっている。

（単位：件）

曜日	日・祝日	月	火	水	木	金	土	計
件数	71,045	23,155	23,980	26,466	30,154	25,575	42,098	**242,473**
１日平均	1,044.8	503.4	499.6	529.3	579.9	511.5	809.6	**662.5**

２．医療機関案内の診療科目別状況

年間181,704件の診療科目等の案内を行った。

科目別では案内数の多い順で外科系、内科系、小児科となっており、それぞれ全体の37.3%、36.0%、15.5%を占めている。

（単位：件）

科目等	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	計
計	**22,383**	**16,998**	**14,798**	**11,261**	**14,428**	**11,379**	**14,638**	**17,422**	**14,546**	**13,801**	**14,744**	**15,306**	**181,704**
内科系	8,105	5,572	5,194	4,773	5,442	3,920	5,463	6,660	5,068	4,830	5,076	5,304	65,407
外科系	6,405	5,635	5,293	3,814	5,583	4,695	5,716	6,545	5,993	5,732	6,034	6,311	67,756
小児科	5,381	3,978	2,591	1,539	1,636	1,482	1,832	2,223	1,826	1,769	2,021	1,839	28,117
産・婦人科	501	337	346	180	309	202	292	294	295	259	238	249	3,502
泌尿器科	354	253	239	194	279	198	234	289	291	208	180	253	2,972
皮膚科	115	74	94	47	70	61	92	150	76	54	80	104	1,017
眼科	474	321	286	195	337	264	364	414	321	282	339	410	4,007
耳鼻咽喉科	644	509	469	292	460	322	366	485	387	320	414	444	5,112
口腔外科	189	197	178	144	195	136	157	197	162	221	207	221	2,204
精神科				4	4	3	3	2	1	2	1	1	21
歯科	210	118	101	67	102	71	102	147	109	102	139	156	1,424
患者等搬送事業者	5	4	6	12	11	24	17	16	17	22	15	14	163
その他			1			1							2

※医療機関を案内した合計数（救急医療相談後の医療機関案内を含む）

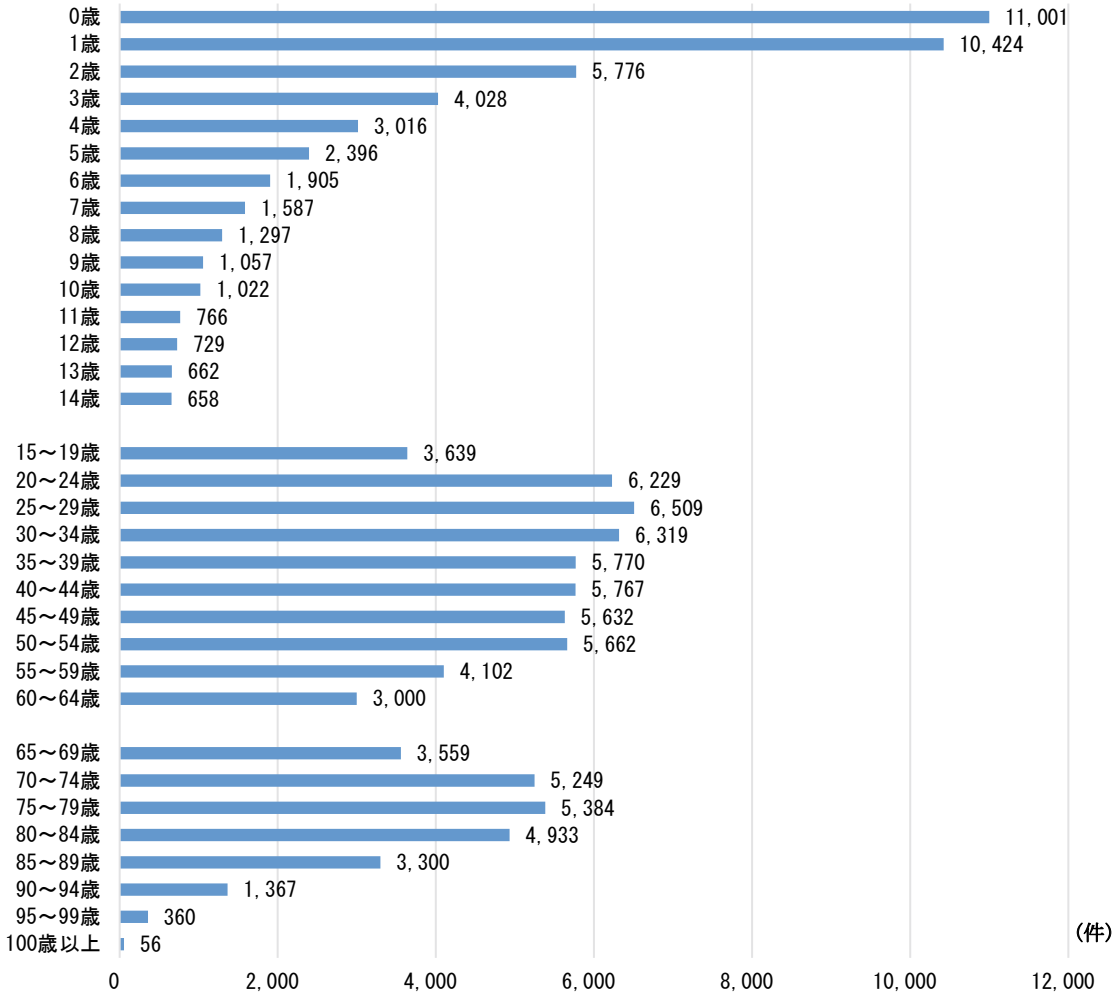
※１件の問い合わせで複数科目を案内した場合はそれぞれで計上

3．救急医療相談状況

(1) 救急医療相談対象者の年齢区分

小児(15 歳未満)の相談が 46,324 人 (37.3%)、高齢者(65 歳以上)が 24,208 人 (19.5%) となった。

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
計	**124,098**				
0 歳	11,001	15～19 歳	3,639	65～69 歳	3,559
1 歳	10,424	20～24 歳	6,229	70～74 歳	5,249
2 歳	5,776	25～29 歳	6,509	75～79 歳	5,384
3 歳	4,028	30～34 歳	6,319	80～84 歳	4,933
4 歳	3,016	35～39 歳	5,770	85～89 歳	3,300
5 歳	2,396	40～44 歳	5,767	90～94 歳	1,367
6 歳	1,905	45～49 歳	5,632	95～99 歳	360
7 歳	1,587	50～54 歳	5,662	100 歳以上	56
8 歳	1,297	55～59 歳	4,102	不明	937
9 歳	1,057	60～64 歳	3,000		
10 歳	1,022				
11 歳	766				
12 歳	729				
13 歳	662				
14 歳	658				



(2) 救急医療相談の症候別内訳

（単位：件）

成人用		成人及び小児共通			
呼吸困難	5,061	動悸	1,582	上肢の問題	1,642
喘鳴	49	意識障害	1,988	脚(鼠径部～下腿)	1,916
喘息	198	背部痛	1,185	足(足首より先)	912
痙攣	288	失神	467	出血	690
頭痛	4,830	構音障害・声が出ない	528	裂傷	275
胸痛	3,261	感冒	1,509	打撲	200
発熱	7,091	咽頭痛	1,055	墜落・転落	242
発疹・蕁麻疹	2,156	胸やけ	144	穿通性損傷	113
腹痛	6,793	吐血・下血・血便	1,217	咬傷・虫刺症	1,839
便秘	532	排尿時痛	355	熱傷	1,410
下痢	1,001	排尿困難	533	創傷感染	254
吐き気・嘔吐	2,145	尿の色の異常	573	眼の外傷	778
耳痛(耳漏)	378	多尿・頻尿	172	耳の外傷・異物	323
頭部外傷	2,053	腟からの出血	608	頸部・背部の外傷	146
小児用		性器・泌尿器(男性)	638	体幹外傷	686
発熱	9,150	難聴	139	四肢・顔面の外傷	4,310
痙攣(ひきつけ)・震え	446	耳鳴り	180	固形異物誤飲	2,824
咳	1,163	めまい・ふらつき	4,553	液体異物誤飲	580
鼻水・鼻づまり	193	しびれ・麻痺	2,939	ガス吸入・液体誤嚥	151
喘息・喘息様症状	91	眼科関連	1,764	医薬品過量（誤）服用	836
呼吸困難	815	鼻(外傷・鼻出血など)	1,437	眼内異物	407
発疹	2,625	口腔内・歯痛・歯牙損傷	2,732	コンタクトレンズ関連	83
吐き気・嘔吐	2,448	頸部痛・肩の痛み	1,052	鼻腔内異物	221
下痢	607	腰痛	2,041	魚骨咽頭異物	277
腹痛	1,526	乳房痛	170	直腸内異物	23
便秘	415	かゆみ	138	腟内異物	19
便の色の異常	663	アレルギー	364	皮膚異物	140
耳痛(耳漏)	580	高血圧	1,510	食中毒	396
頭痛	639	しゃっくり	88	熱中症	851
たばこ誤飲	286	過換気	166	低体温	111
啼泣	625	不安・恐怖	222	麻疹(はしか)	2
食欲がない	165	不眠	217	しらみ	4
頭部・頸部外傷	8,286	うつの訴え	104	**計**	**121,590**

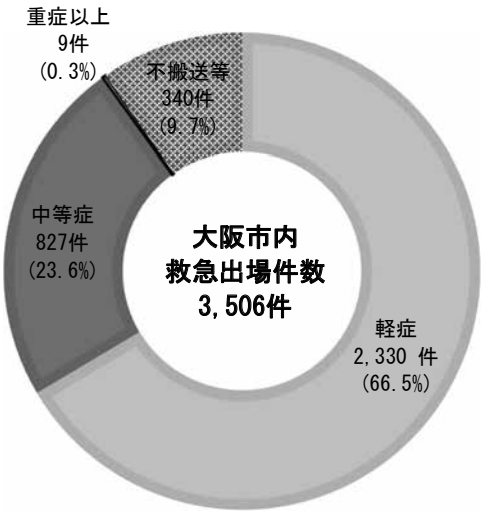
※救急医療相談の内、気道・呼吸・循環・意識の異常により緊急性が高いと判断した場合は、症候別項目を聴取しないことがある。

(3) 救急出場した傷病者の月別傷病程度（大阪市内）

救急車を出場させた3,506件（大阪市内）のうち、緊急入院したもの（中等症以上）は836件であった。また、軽症者の中には脳梗塞や心筋梗塞などでみられる症状を迅速にとらえ受診につなげることで、通院加療にとどまったケースもあった。

（単位：件）

	軽症	中等症	重症以上	不搬送等	計
計	**2,330**	**827**	**9**	**340**	**3,506**
1月	173	62	1	25	261
2月	138	56	1	14	209
3月	164	60	2	21	247
4月	239	81		62	382
5月	219	75	1	28	323
6月	179	50		25	254
7月	213	68	1	35	317
8月	222	75		37	334
9月	194	69		20	283
10月	210	90		34	334
11月	190	59		16	265
12月	189	82	3	23	297



統　　計　　表

(参　考)　　事　故　種　別　区　分　表

種　　別	区分	内　　容
火 災 事 故	1	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故
自然災害事故	1	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他異常な自然現象に起因する災害による事故
水 難 事 故	1	水泳中の溺者（運動競技によるものを除く。）又は誤って水中に転落したこと等による事故（海上交通機関の交通事故によるものを除く）
交 通 事 故	1	陸上交通機関によるすべての事故（乗車中の負傷、走行中の急停車又は車内混乱が直接負傷発生の原因となったものを含む）
	2	海上交通機関によるすべての交通事故
	3	航空交通機関によるすべての交通事故
労働災害事故	1	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において、就業中に発生した労働者の外科的傷病事故
	2	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において、就業中に発生した労働者の内科的疾患事故（各種ガス中毒、ケーソン病、熱射病等）
運動競技事故	1	運動競技実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等が負傷又は発病した事故
	2	観覧中の者が運動競技用具等によって負傷した事故及び各種職場、学校等において組織的な運動競技でない練習、遊技中に発生した事故
一 般 負 傷	1	貨幣、針、その他の誤飲、異物による気道閉塞、寝具、乳房による窒息事故
	2	ガス類により中毒した事故（労働災害及び自損行為によるものを除く。）
	3	公衆集合場、街頭及び屋内等で発生した他の各項および前各号以外の事故
加　　害	1	他人によって故意に傷害等を加えられた事故
自 損 行 為	1	各種薬（毒）物又はガス類を使用し、故意に自分自身に傷害等を加えた事故
	2	前号以外の方法で故意に自分自身に傷害等を加えた事故
急　　病	1	内科的疾病による事故（症状悪化、食中毒、薬毒物誤飲等を含む。）
	2	産婦人科系の疾病による事故
そ　の　他		転 院 搬 送
		医 師 搬 送
		資器材等輸送
		不搬送であったもののうち、前各項及び前各号以外の事故

第1表

事故種別救急活動状況

事故種別		出場件数（件）	搬送人員（人）	救護人員（人）
計		**217,430**	**176,633**	**183,723**
火災	1	811	160	166
自然災害	1	12	9	9
水難	1	95	23	28
交通	1	13,042	10,738	11,793
	2	1	1	1
	3	4	2	3
労働災害	1	1,304	1,261	1,276
	2	43	39	40
運動競技	1	560	548	553
	2	20	20	20
一般負傷	1	861	733	740
	2	12	9	9
	3	36,517	26,922	31,237
加害	1	2,224	1,382	1,722
自損行為	1	1,244	839	913
	2	983	580	731
急病	1	145,555	120,252	121,366
	2	1,543	1,504	1,505
その他				
転院搬送		11,611	11,611	11,611
医師搬送		9	－	－
資器材等輸送		3	－	－
その他		976	－	－

※救護人員＝搬送人員＋現場処置人員

第2表

隊別救急活動状況

隊	出場件数（件） 計	傷病者搬送	医師搬送	資器材等輸送	不搬送	地域別 市域内	地域別 市域外	搬送人員（人）
計	**217,430**	**176,127**	**9**	**3**	**41,291**	**217,384**	**46**	**176,633**
本部 本部1	2,315	2,073	−	−	242	2,315	−	2,089
本部 本部2	1,057	922	−	−	135	1,056	1	926
北 北	3,829	3,042	−	−	787	3,829	−	3,051
北 南森町	3,593	2,868	−	−	725	3,592	1	2,878
北 浮田	4,034	3,301	1	−	732	4,034	−	3,310
北 大淀町	3,185	2,576	−	−	609	3,182	3	2,585
都島 都島1	3,625	3,064	1	−	560	3,625	−	3,073
都島 都島2	1,193	1,021	−	−	172	1,193	−	1,023
都島 東野田	3,137	2,571	−	−	566	3,137	−	2,581
福島 福島	3,088	2,617	−	−	471	3,087	1	2,622
福島 海老江	2,478	2,190	−	−	288	2,478	1	2,193
此花 此花1	2,668	2,255	−	−	413	2,668	−	2,264
此花 此花2	2,477	2,163	−	−	314	2,477	−	2,170
中央 中央	3,189	2,631	−	−	558	3,187	2	2,637
中央 道頓堀	3,693	2,602	−	−	1,091	3,693	−	2,613
中央 上町	3,299	2,542	−	−	757	3,299	−	2,548
西 西	3,101	2,603	−	−	498	3,101	−	2,604
西 江戸堀	2,823	2,364	−	−	459	2,822	1	2,369
西 新町	3,412	2,723	−	−	689	3,412	−	2,728
港	3,380	2,887	−	−	493	3,380	−	2,892
大正	2,881	2,467	−	−	414	2,881	−	2,470
天王寺 天王寺1	3,574	2,949	−	−	625	3,574	−	2,957
天王寺 天王寺2	1,211	1,038	−	−	173	1,211	−	1,041
浪速 浪速本署1	3,279	2,468	−	−	811	3,279	−	2,473
浪速 浪速本署2	2,030	1,575	−	−	455	2,030	−	1,583
浪速 恵美須	3,929	2,849	1	−	1,079	3,929	−	2,862
浪速 浪速（出）	3,289	2,621	−	−	668	3,289	−	2,628
西淀川 西淀川	3,682	3,233	−	−	449	3,681	1	3,246
西淀川 大和田	2,029	1,807	−	−	222	2,028	1	1,809
淀川 淀川1	3,556	2,953	−	−	603	3,556	−	2,958
淀川 淀川2	3,377	2,766	−	−	611	3,377	−	2,773
淀川 加島	2,589	2,202	−	−	387	2,588	1	2,206
東淀川 東淀川	3,993	3,427	−	−	566	3,991	2	3,431
東淀川 小松	3,703	3,185	−	−	518	3,700	3	3,191
東淀川 西淡路	4,203	3,468	−	−	735	4,200	3	3,476

隊		出場件数（件） 計	傷病者搬送	医師搬送	資器材等輸送	不搬送	地域別 市域内	地域別 市域外	搬送人員（人）
東成	東成1	3,655	2,937	−	−	718	3,652	2	2,945
	東成2	763	631	−	−	132	763	−	633
生野	生野	3,383	2,813	−	−	568	3,383	−	2,824
	中川	3,009	2,449	−	2	560	3,008	1	2,456
	巽	3,057	2,581	−	−	475	3,056	1	2,585
旭	旭1	3,889	3,259	−	1	630	3,888	1	3,264
	旭2	3,704	3,043	−	−	661	3,703	1	3,045
城東	城東1	3,869	3,298	−	−	571	3,869	−	3,308
	城東2	3,650	3,085	−	−	565	3,650	−	3,092
	中浜	3,759	3,331	−	−	428	3,758	1	3,344
鶴見	鶴見1	2,980	2,600	−	−	380	2,972	8	2,604
	鶴見2	2,796	2,497	−	−	299	2,796	−	2,503
阿倍野	阿倍野1	3,391	2,703	−	−	687	3,391	−	2,715
	阿倍野2	3,283	2,689	1	−	593	3,283	−	2,693
	阪南	3,482	2,709	1	−	771	3,482	−	2,722
住之江	住之江1	4,334	3,499	2	−	835	4,333	1	3,519
	住之江2	1,604	1,358	−	−	246	1,604	−	1,362
	南港	1,705	1,490	1	−	215	1,705	−	1,498
住吉	住吉1	3,514	2,638	−	−	876	3,514	−	2,644
	住吉2	3,299	2,466	−	−	832	3,299	−	2,473
	苅田	3,481	2,598	−	−	883	3,480	1	2,605
東住吉	東住吉1	3,803	2,989	−	−	814	3,803	−	3,000
	東住吉2	1,669	1,379	−	−	290	1,669	−	1,386
	杭全	3,366	2,811	−	−	555	3,366	−	2,820
平野	平野1	3,424	2,728	−	−	696	3,423	1	2,738
	平野2	3,207	2,586	−	−	621	3,207	−	2,604
	長吉	3,355	2,638	−	−	717	3,353	2	2,648
	喜連	4,113	3,285	−	−	828	4,109	4	3,296
西成	西成1	4,246	3,002	−	−	1,244	4,246	−	3,007
	西成2	819	628	−	−	191	819	−	629
	海道1	4,700	3,204	−	−	1,496	4,700	−	3,208
	海道2	4,491	2,914	−	−	1,576	4,491	−	2,921
	津守	3,937	2,896	1	−	1,041	3,936	1	2,906
水上		2,090	1,771	−	−	319	2,090	−	1,774
航空隊		−	−	−	−	−	−	−	−
増強救急隊		702	599	−	−	103	702	−	602

第3表

月別救急活動状況

月	出場件数（件）							搬送人員（人）
	計	傷病者搬送	医師搬送	資器材等輸送	不搬送	地域別		
						市域内	市域外	
計	**217,430**	**176,127**	**9**	**3**	**41,291**	**217,384**	**46**	**176,633**
1月	21,579	17,962	－	－	3,617	21,574	5	18,038
2月	18,591	15,229	－	－	3,362	18,588	3	15,271
3月	17,422	14,240	－	1	3,181	17,419	3	14,286
4月	15,167	11,909	－	1	3,257	15,164	3	11,935
5月	15,722	12,458	－	－	3,264	15,719	3	12,489
6月	16,964	13,660	2	1	3,301	16,960	4	13,688
7月	18,881	15,354	3	－	3,524	18,874	7	15,421
8月	21,361	17,125	1	－	4,235	21,355	6	17,165
9月	17,746	14,505	2	－	3,239	17,743	3	14,532
10月	18,374	15,015	－	－	3,359	18,374	－	15,058
11月	17,678	14,328	－	－	3,350	17,676	2	14,364
12月	17,945	14,342	1	－	3,602	17,938	7	14,386

第4表

月別出場件数及び搬送人員

月	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	**217,430**	**811**	**12**	**95**	**13,047**	**1,347**	**580**	**37,390**	**2,224**	**2,227**	**147,098**	**12,599**
	176,633	**160**	**9**	**23**	**10,741**	**1,300**	**568**	**27,664**	**1,382**	**1,419**	**121,756**	**11,611**
1月	21,579	79	8	6	1,097	97	62	3,690	202	180	14,898	1,260
	18,038	24	7	1	920	93	61	2,839	137	120	12,660	1,176
2月	18,591	89	−	5	1,075	114	51	3,293	196	155	12,478	1,135
	15,271	21	−	3	885	110	50	2,489	122	102	10,448	1,041
3月	17,422	79	−	7	1,118	95	21	2,955	174	156	11,826	991
	14,286	17	−	1	962	93	20	2,241	111	102	9,831	908
4月	15,167	58	−	8	790	104	15	2,558	154	132	10,482	866
	11,935	4	−	3	656	102	15	1,838	86	84	8,351	796
5月	15,722	65	−	7	952	77	11	2,770	183	193	10,568	896
	12,489	14	−	2	745	76	10	2,004	115	129	8,578	816
6月	16,964	48	1	11	1,066	110	32	2,887	203	200	11,475	931
	13,688	7	−	4	873	108	32	2,092	122	123	9,505	822
7月	18,881	53	3	15	1,185	109	48	3,191	193	200	12,747	1,137
	15,421	16	2	1	1,006	101	47	2,299	119	139	10,632	1,059
8月	21,361	68	−	11	1,170	130	76	3,105	162	213	15,263	1,163
	17,165	11	−	−	948	126	73	2,230	92	123	12,485	1,077
9月	17,746	49	−	7	1,091	116	77	2,939	177	229	12,024	1,037
	14,532	4	−	−	901	115	75	2,208	109	150	10,014	956
10月	18,374	55	−	5	1,203	149	66	3,377	183	217	12,054	1,065
	15,058	9	−	2	991	138	65	2,540	120	133	10,065	995
11月	17,678	67	−	8	1,168	122	73	3,253	200	163	11,561	1,063
	14,364	11	−	2	942	119	73	2,433	125	104	9,564	991
12月	17,945	101	−	5	1,132	124	48	3,372	197	189	11,722	1,055
	14,386	22	−	4	912	119	47	2,451	124	110	9,623	974

(注)上段 … 出場件数(件)　　下段 … 搬送人員(人)

第5表

行政区別救急活動状況

行政区	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他
計	**217,430**	**811**	**12**	**95**	**13,047**	**1,347**	**580**	**37,390**	**2,224**	**2,227**	**147,098**	**11,611**	**9**	**3**	**976**
	176,633	**160**	**9**	**23**	**10,741**	**1,300**	**568**	**27,664**	**1,382**	**1,419**	**121,756**	**11,611**	**－**	**－**	**－**
北	14,591	50	－	7	901	142	24	2,553	189	103	9,918	666	－	－	38
	11,785	9	－	1	766	138	24	1,967	121	64	8,029	666	－	－	－
都島	7,182	17	－	3	391	18	23	1,258	72	60	5,032	261	1	－	46
	5,937	－	－	－	327	18	23	988	50	41	4,229	261	－	－	－
福島	4,541	18	－	1	302	61	13	788	26	41	2,880	395	－	－	16
	3,896	3	－	－	256	59	13	592	18	30	2,530	395	－	－	－
此花	5,102	21	1	5	311	58	27	881	27	26	3,538	189	－	－	18
	4,401	4	1	－	266	57	27	705	19	18	3,115	189	－	－	－
中央	13,051	64	1	11	930	120	31	2,180	334	199	8,780	371	－	－	30
	9,879	8	1	2	743	113	31	1,569	197	123	6,721	371	－	－	－
西	6,729	27	1	3	486	52	8	973	51	105	3,970	1,024	1	－	28
	5,761	4	－	1	409	51	8	740	37	67	3,420	1,024	－	－	－
港	6,349	21	－	1	394	57	22	1,066	52	52	4,433	229	1	－	21
	5,440	7	－	－	336	56	20	808	25	31	3,928	229	－	－	－
大正	5,165	21	－	2	287	44	19	810	44	50	3,613	257	－	－	18
	4,347	5	－	－	229	42	18	637	29	26	3,104	257	－	－	－
天王寺	5,860	22	1	－	365	30	32	1,066	44	64	3,631	583	－	－	22
	4,791	7	1	－	321	28	30	825	31	42	2,923	583	－	－	－
浪速	7,544	34	－	1	491	49	23	1,174	101	126	5,125	399	－	－	21
	5,861	4	－	1	399	46	24	800	62	73	4,053	399	－	－	
西淀川	6,589	26	－	5	383	73	18	1,091	34	51	4,336	540	－	－	32
	5,874	6	－	1	346	68	18	920	22	31	3,922	540	－	－	－
淀川	12,397	43	2	8	732	72	48	2,163	137	129	8,458	558	－	－	47
	10,275	3	2	4	629	70	47	1,569	99	82	7,212	558	－	－	－
東淀川	12,383	35	－	8	675	45	46	1,946	92	137	8,733	606	1	－	59
	10,565	8	－	4	581	44	45	1,491	63	96	7,627	606	－	－	－

(注)上段 … 出場件数(件)　　下段 … 搬送人員(人)

行政区	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他
東成	5,402	18	1	－	362	32	8	919	31	53	3,552	397	－	－	29
	4,537	1	－	－	316	32	8	707	21	33	3,022	397	－	－	－
生野	10,115	39	1	1	680	57	22	1,790	104	91	6,795	461	－	2	72
	8,369	6	1	－	548	57	21	1,353	70	56	5,796	461	－	－	－
旭	6,058	30	1	2	301	25	14	1,014	48	65	4,045	468	－	－	45
	5,052	6	－	2	233	22	12	792	34	38	3,445	468	－	－	－
城東	10,065	33	1	－	564	57	25	1,736	41	76	6,625	857	1	－	49
	8,744	7	1	－	484	55	25	1,441	35	49	5,790	857	－	－	－
鶴見	6,125	21	－	2	397	36	39	1,099	27	63	3,998	415	－	－	28
	5,413	3	－	－	346	36	39	913	22	43	3,596	415	－	－	－
阿倍野	7,154	34	－	－	447	26	14	1,376	61	49	4,728	373	－	－	46
	5,830	13	－	－	366	25	13	1,060	38	35	3,907	373	－	－	－
住之江	9,695	31	－	9	580	80	33	1,645	78	112	6,708	381	1	－	37
	8,021	14	－	1	458	79	33	1,222	52	77	5,704	381	－	－	－
住吉	11,113	29	1	－	615	38	30	1,935	68	125	7,568	643	－	－	61
	8,311	5	1	－	454	37	30	1,328	37	66	5,710	643	－	－	－
東住吉	9,859	34	1	－	664	34	19	1,517	94	98	6,775	555	－	－	68
	7,997	5	1	－	531	32	18	1,149	59	68	5,579	555	－	－	－
平野	14,803	71	－	1	1,017	86	23	2,596	96	176	10,122	540	2	1	72
	11,914	17	－	－	851	83	23	1,987	48	123	8,242	540	－	－	－
西成	19,485	70	－	1	755	54	19	3,801	372	173	13,723	443	1	－	73
	13,601	15	－	－	535	51	18	2,099	193	104	10,143	443	－	－	－
大阪港内	27	－	－	15	－	1	－	9	－	2	－	－	－	－	－
	10	－	－	5	－	1	－	2	－	2	－	－	－	－	－
市域外	46	2	－	9	17	－	－	4	1	1	12	－	－	－	－
	22	－	－	1	11	－	－	－	－	1	9	－	－	－	－

第6表　　平日・休日、時間別出場件数及び搬送人員

区分	出場件数(件)											その他			
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他
計	**217,430**	**811**	**12**	**95**	**13,047**	**1,347**	**580**	**37,390**	**2,224**	**2,227**	**147,098**	**11,611**	**9**	**3**	**976**
平・休日															
平　日	72,572	268	3	38	3,870	292	319	12,871	977	719	50,157	2,731	1	1	325
休　日	144,858	543	9	57	9,177	1,055	261	24,519	1,247	1,508	96,941	8,880	8	2	651
時間															
0 ～ 1	7,076	37	－	2	318	17	2	1,107	208	114	5,099	129	－	－	43
1 ～ 2	5,868	17	－	2	250	14	－	900	155	93	4,264	132	－	－	41
2 ～ 3	4,984	25	－	4	180	10	－	688	163	85	3,709	87	－	－	33
3 ～ 4	4,534	26	－	2	169	9	－	627	109	82	3,409	74	－	－	27
4 ～ 5	4,284	24	－	2	117	15	－	576	105	61	3,311	50	－	－	23
5 ～ 6	4,755	28	－	4	184	17	－	688	75	83	3,598	62	－	－	16
6 ～ 7	5,342	27	－	6	284	21	3	790	77	73	4,009	26	2	－	24
7 ～ 8	7,020	33	－	9	476	26	3	1,128	58	85	5,120	56	1	－	25
8 ～ 9	9,283	37	－	5	762	54	9	1,542	44	65	6,616	112	1	－	36
9 ～10	12,109	37	1	6	665	128	30	2,128	62	79	8,287	642	1	1	42
10～11	12,831	31	1	3	776	112	51	2,181	57	84	8,412	1,084	－	－	39
11～12	12,126	39	－	6	759	132	55	2,078	43	87	7,603	1,277	－	1	46
12～13	11,846	45	2	5	722	87	55	1,949	51	87	7,353	1,444	－	－	46
13～14	11,729	42	5	4	697	123	45	1,988	52	98	7,495	1,133	1	－	46
14～15	11,170	40	2	8	650	119	46	2,012	58	106	7,314	768	－	－	47
15～16	11,029	37	1	4	772	114	44	2,029	51	90	7,093	742	1	－	51
16～17	11,006	28	－	6	811	96	36	2,060	53	101	6,977	780	1	－	57
17～18	11,360	30	－	5	879	57	48	2,049	77	100	7,248	815	－	－	52
18～19	11,392	45	－	2	896	56	36	2,097	80	109	7,344	667	－	－	60
19～20	10,783	36	－	1	742	28	44	1,969	76	103	7,229	509	－	－	46
20～21	10,241	44	－	2	582	41	30	1,896	111	100	7,035	342	－	－	58
21～22	9,740	54	－	－	498	30	23	1,870	146	119	6,706	260	－	－	34
22～23	9,040	25	－	4	467	21	15	1,655	145	86	6,344	228	－	－	50
23～24	7,882	24	－	3	391	20	5	1,383	168	137	5,523	192	1	1	34

搬送人員（人）												区分
計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
176,633	**160**	**9**	**23**	**10,741**	**1,300**	**568**	**27,664**	**1,382**	**1,419**	**121,756**	**11,611**	**計**
												平・休日
58,561	48	2	10	3,160	286	313	9,562	619	473	41,357	2,731	平 日
118,072	112	7	13	7,581	1,014	255	18,102	763	946	80,399	8,880	休 日
												時 間
5,198	8	－	1	218	17	2	702	136	65	3,920	129	0～ 1
4,218	－	－	1	179	14	－	560	89	55	3,188	132	1～ 2
3,559	9	－	1	128	9	－	406	93	53	2,773	87	2～ 3
3,287	8	－	－	119	8	－	401	63	43	2,571	74	3～ 4
3,161	7	－	2	82	13	－	343	49	39	2,576	50	4～ 5
3,623	7	－	1	131	17	－	478	43	55	2,829	62	5～ 6
4,272	8	－	1	237	19	3	558	46	53	3,321	26	6～ 7
5,758	10	－	4	397	26	3	859	39	56	4,308	56	7～ 8
7,999	9	－	－	669	52	9	1,295	27	48	5,778	112	8～ 9
10,706	4	1	3	615	124	29	1,793	40	50	7,405	642	9～10
11,188	9	1	－	676	106	50	1,784	36	55	7,387	1,084	10～11
10,390	13	－	1	637	129	54	1,664	31	56	6,528	1,277	11～12
10,139	10	2	1	611	84	54	1,537	34	55	6,307	1,444	12～13
9,981	7	3	－	590	121	45	1,540	38	67	6,437	1,133	13～14
9,322	6	2	1	547	115	45	1,524	37	67	6,210	768	14～15
9,138	3	－	－	651	108	44	1,529	33	56	5,972	742	15～16
8,971	8	－	－	660	96	35	1,526	33	74	5,759	780	16～17
9,380	3	－	1	736	54	48	1,563	54	64	6,042	815	17～18
9,205	3	－	－	750	56	36	1,525	58	67	6,043	667	18～19
8,659	6	－	－	605	28	41	1,435	52	73	5,910	509	19～20
8,078	6	－	1	466	40	28	1,326	72	68	5,729	342	20～21
7,572	12	－	－	386	27	23	1,314	82	73	5,395	260	21～22
6,929	3	－	2	353	19	15	1,092	94	50	5,073	228	22～23
5,900	1	－	2	298	18	4	910	103	77	4,295	192	23～24

第7表　　曜日別、時間別出場件数及び搬送人員

時間	出場件数（件）							
	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	**217,430**	**30,054**	**32,246**	**30,557**	**31,131**	**30,906**	**31,331**	**31,205**
0 ～ 1	7,076	1,222	971	892	975	979	934	1,103
1 ～ 2	5,868	944	762	766	822	820	835	919
2 ～ 3	4,984	854	686	656	690	653	675	770
3 ～ 4	4,534	779	586	615	640	590	637	687
4 ～ 5	4,284	724	633	566	616	558	568	619
5 ～ 6	4,755	757	671	633	699	671	641	683
6 ～ 7	5,342	806	779	750	722	771	738	776
7 ～ 8	7,020	978	1,071	960	1,028	994	1,032	957
8 ～ 9	9,283	1,141	1,598	1,317	1,346	1,324	1,353	1,204
9 ～10	12,109	1,379	2,073	1,770	1,819	1,775	1,783	1,510
10～11	12,831	1,528	2,111	1,962	1,821	1,881	1,906	1,622
11～12	12,126	1,589	1,849	1,725	1,805	1,759	1,734	1,665
12～13	11,846	1,568	1,889	1,730	1,661	1,672	1,625	1,701
13～14	11,729	1,467	1,777	1,695	1,730	1,755	1,671	1,634
14～15	11,170	1,410	1,647	1,607	1,651	1,627	1,654	1,574
15～16	11,029	1,521	1,573	1,552	1,595	1,613	1,596	1,579
16～17	11,006	1,531	1,662	1,571	1,506	1,588	1,598	1,550
17～18	11,360	1,543	1,615	1,640	1,661	1,650	1,646	1,605
18～19	11,392	1,606	1,604	1,615	1,611	1,625	1,671	1,660
19～20	10,783	1,556	1,534	1,489	1,569	1,508	1,471	1,656
20～21	10,241	1,446	1,464	1,448	1,423	1,421	1,452	1,587
21～22	9,740	1,407	1,316	1,319	1,423	1,319	1,434	1,522
22～23	9,040	1,218	1,281	1,243	1,252	1,281	1,419	1,346
23～24	7,882	1,080	1,094	1,036	1,066	1,072	1,258	1,276

搬送人員（人）								時間
計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
176,633	**23,986**	**26,564**	**24,900**	**25,356**	**25,055**	**25,527**	**25,245**	**計**
5,198	901	724	649	726	715	694	789	0 ～ 1
4,218	654	580	546	599	616	570	653	1 ～ 2
3,559	598	509	474	493	458	470	557	2 ～ 3
3,287	539	439	462	476	436	455	480	3 ～ 4
3,161	516	478	423	468	421	420	435	4 ～ 5
3,623	563	532	486	539	503	489	511	5 ～ 6
4,272	626	613	635	584	623	598	593	6 ～ 7
5,758	774	908	792	838	816	846	784	7 ～ 8
7,999	972	1,377	1,166	1,160	1,139	1,158	1,027	8 ～ 9
10,706	1,170	1,838	1,570	1,637	1,590	1,567	1,334	9 ～10
11,188	1,310	1,861	1,717	1,581	1,642	1,665	1,412	10～11
10,390	1,325	1,603	1,482	1,566	1,483	1,485	1,446	11～12
10,139	1,327	1,623	1,464	1,419	1,429	1,413	1,464	12～13
9,981	1,214	1,515	1,417	1,485	1,487	1,451	1,412	13～14
9,322	1,172	1,391	1,342	1,361	1,342	1,396	1,318	14～15
9,138	1,235	1,316	1,279	1,327	1,323	1,316	1,342	15～16
8,971	1,239	1,343	1,286	1,217	1,282	1,322	1,282	16～17
9,380	1,266	1,348	1,349	1,337	1,377	1,385	1,318	17～18
9,205	1,277	1,320	1,285	1,296	1,317	1,350	1,360	18～19
8,659	1,260	1,269	1,195	1,242	1,192	1,173	1,328	19～20
8,078	1,162	1,169	1,139	1,130	1,086	1,143	1,249	20～21
7,572	1,103	1,025	1,014	1,130	1,004	1,115	1,181	21～22
6,929	937	979	956	946	975	1,110	1,026	22～23
5,900	846	804	772	799	799	936	944	23～24

第8表

事故種別出場件数及び搬送人員

事故種別	計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	**217,430**	**30,054**	**32,246**	**30,557**	**31,131**	**30,906**	**31,331**	**31,205**
	176,633	**23,986**	**26,564**	**24,900**	**25,356**	**25,055**	**25,527**	**25,245**
火災	811	115	123	119	137	89	109	119
	160	17	28	30	21	18	21	25
自然災害	12	－	－	1	8	－	－	3
	9	－	－	－	7	－	－	2
水難	95	14	21	12	13	18	4	13
	23	3	5	1	2	6	2	4
交通	13,047	1,448	1,859	1,906	1,899	1,929	2,080	1,926
	10,741	1,153	1,550	1,584	1,572	1,582	1,697	1,603
労働災害	1,347	83	172	219	216	263	225	169
	1,300	82	167	208	212	252	213	166
運動競技	580	179	47	58	59	55	71	111
	568	175	45	58	57	54	69	110
一般負傷	37,390	5,313	5,378	5,158	5,276	5,329	5,336	5,600
	27,664	3,904	4,027	3,762	3,876	3,968	3,970	4,157
加害	2,224	429	253	262	294	270	295	421
	1,382	274	164	153	178	162	183	268
自損行為	2,227	314	330	302	323	344	317	297
	1,419	205	205	202	207	212	200	188
急病	147,098	21,231	21,929	20,543	20,991	20,736	20,835	20,833
	121,756	17,385	18,396	17,054	17,443	17,067	17,273	17,138
その他	12,599	928	2,134	1,977	1,915	1,873	2,059	1,713
	11,611	788	1,977	1,848	1,781	1,734	1,899	1,584

(注)上段 … 出場件数(件)　　下段 … 搬送人員(人)

第9表

日別出場件数

（単位:件）

日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	21,579	18,591	17,422	15,167	15,722	16,964	18,881	21,361	17,746	18,374	17,678	17,945
1日	795	670	614	567	551	577	645	657	655	638	633	561
2日	773	655	622	559	557	592	586	638	600	603	684	577
3日	785	722	558	577	499	572	557	681	635	671	539	510
4日	808	617	585	599	590	555	567	647	628	633	626	537
5日	670	592	558	494	543	576	586	689	659	638	572	574
6日	853	599	550	576	525	610	628	634	597	553	632	559
7日	654	707	593	534	517	576	536	671	637	557	574	594
8日	722	646	506	526	529	563	565	655	620	545	605	585
9日	673	598	596	493	488	519	577	648	576	553	582	531
10日	677	692	530	474	460	512	592	696	574	572	551	519
11日	764	623	520	501	524	523	555	739	598	644	568	562
12日	701	684	609	444	527	530	587	711	641	643	638	579
13日	734	682	570	523	489	564	586	728	539	567	558	505
14日	703	670	521	476	439	562	568	735	553	547	596	543
15日	617	693	541	522	520	614	597	744	569	572	588	605
16日	645	614	536	495	501	550	549	774	565	615	566	595
17日	691	656	609	464	482	543	586	861	573	585	590	581
18日	702	577	601	478	539	515	633	759	631	611	598	587
19日	712	625	605	462	488	587	584	684	579	562	579	560
20日	666	624	564	524	500	578	684	729	620	612	607	586
21日	619	659	610	482	478	579	650	759	607	620	585	618
22日	633	609	499	432	473	584	692	649	580	511	625	589
23日	614	596	591	462	512	556	646	669	568	577	576	570
24日	619	652	546	497	475	530	607	663	512	626	604	582
25日	671	639	567	497	537	547	594	696	594	594	558	641
26日	657	560	541	457	466	640	601	624	589	619	537	562
27日	720	628	597	509	499	548	626	631	557	549	595	568
28日	701	652	509	470	449	562	686	655	590	565	540	632
29日	635	650	436	478	552	621	650	624	538	577	553	653
30日	695		540	595	528	579	678	614	562	587	619	660
31日	670		598		485		683	697		628		620

第10表　　発生場所別救急活動状況

発生場所	計	急病	一般	交通	その他
計	**217,430**	**147,098**	**37,390**	**13,047**	**19,895**
	176,633	**121,756**	**27,664**	**10,741**	**16,472**
住宅	119,462	97,899	17,749	143	3,671
	100,029	84,277	13,818	121	1,813
公衆出入り場所	49,506	28,754	7,450	199	13,103
	43,133	24,181	6,133	159	12,660
仕事場	5,348	3,792	412	19	1,125
	4,945	3,581	341	16	1,007
阪神高速道路	304	27	14	251	12
	254	21	1	231	1
近畿自動車道	4	2	1	1	0
	3	2	－	1	0
その他の道路	38,278	14,419	10,212	12,211	1,436
	25,162	8,109	6,317	10,033	703
軌道上	63	1	30	20	12
	43	1	17	15	10
水上	168	5	39	－	124
	60	5	11	－	44
公衆の乗降する運輸機関内	648	542	56	36	14
	549	456	50	34	9
その他の運輸機関内	350	309	14	9	18
	281	249	11	8	13
その他の屋内	490	300	140	3	47
	350	225	95	3	27
その他の屋外	2,809	1,048	1,273	155	333
	1,824	649	870	120	185

(注)上段 … 出場件数(件)　　下段 … 搬送人員(人)

第11表

活動区分別出場件数

区　　分	件　数	（救護人員）	区　　分	件　数	（救護人員）
計	**217,430**	**(183,723)**	誤報・いたずら	998	－
			途中引揚	1,443	－
傷病者搬送	**176,127**	**(176,633)**	その他	1,575	－
選択	96,479	(96,897)	**医師搬送**	**9**	**－**
依頼	68,037	(68,125)	処置	5	－
転院	11,611	(11,611)	指示	－	－
不搬送	**41,291**	**(7,090)**	確認	－	－
市内A渡	12	－	その他	4	－
現場処置	7,075	(7,090)	**資器材等輸送**	**3**	**－**
拒否	23,344	－	血液	1	－
死亡	3,483	－	医薬品	－	－
傷病者無	3,234	－	資器材	2	－
酩酊	127	－			

第12表

理由別不搬送件数

（単位:件）

理　由	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	**41,291**	**661**	**3**	**72**	**2,577**	**48**	**13**	**9,771**	**884**	**808**	**25,478**	**976**
市内A渡	12	－	－	－	－	－	－	1	1	－	10	－
現場処置	7,075	6	－	4	1,047	16	5	4,320	339	224	1,114	－
拒否	23,344	16	－	6	1,108	15	6	2,568	443	308	18,828	46
死亡	3,483	10	－	43	6	－	－	348	3	226	2,836	11
傷病者無	3,234	597	3	11	220	2	－	1,896	26	7	299	173
酩酊	127	－	－	－	2	－	－	1	－	－	123	1
誤報・いたずら	998	2	－	1	3	－	－	225	10	7	158	592
途中引揚	1,443	5	－	－	87	7	2	196	20	21	1,076	29
その他	1,575	25	－	7	104	8	－	216	42	15	1034	124

第13表

医療機関開設主体別搬送人員

（単位：人）

区分	合計	市域内					市域外									
		小計	急病	一般	交通	その他	府下					府外				
							小計	急病	一般	交通	その他	小計	急病	一般	交通	その他
合計	**176,633**	**162,671**	**112,481**	**25,976**	**9,997**	**14,217**	**13,529**	**9,009**	**1,642**	**729**	**2,149**	**433**	**266**	**46**	**15**	**106**
国立	8,576	7,950	5,807	932	299	912	573	351	24	10	188	53	34	2	－	17
公立	1,791	7	5	－	1	1	1,518	1,069	94	27	328	266	169	21	12	64
上記以外の公的	28,209	26,874	18,810	3,223	1,141	3,700	1,321	998	155	59	109	14	9	－	－	5
私的																
病院	136,784	126,598	86,913	21,607	8,536	9,542	10,090	6,568	1,368	632	1,522	96	50	23	3	20
診療所	1,270	1,239	944	214	20	61	27	23	1	1	2	4	4	－	－	－
その他の場所	3	3	2	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
二次・三次医療機関	**164,613**	**151,086**	**104,463**	**24,494**	**9,672**	**12,457**	**13,122**	**8,783**	**1,616**	**721**	**2,002**	**405**	**247**	**40**	**15**	**103**
国立	8,391	7,950	5,807	932	299	912	389	255	8	6	120	52	34	1	－	17
公立	1,723	6	4	－	1	1	1,455	1,042	94	27	292	262	166	21	12	63
上記以外の公的	19,498	18,168	12876	2232	890	2170	1,321	998	155	59	109	9	4	－	－	5
私的																
病院	134,943	124,905	85,722	21,329	8,482	9,372	9,956	6,487	1,359	629	1,481	82	43	18	3	18
診療所	58	57	54	1	－	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
初期医療機関	**511**	**477**	**371**	**74**	**1**	**31**	**34**	**16**	**12**	**4**	**2**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**
国立	33	－	－	－	－	－	33	15	12	4	2	－	－	－	－	－
公立	1	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
上記以外の公的	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
私的																
病院	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
診療所	477	477	371	74	1	31	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の医療機関	**11,506**	**11,105**	**7,645**	**1,408**	**324**	**1,728**	**373**	**210**	**14**	**4**	**145**	**28**	**19**	**6**	**－**	**3**
国立	152	－	－	－	－	－	151	81	4	－	66	1	－	1	－	－
公立	67	1	1	－	－	－	62	26	－	－	36	4	3	－	－	1
上記以外の公的	8,711	8,706	5,934	991	251	1530	－	－	－	－	－	5	5	－	－	－
私的																
病院	1,841	1,693	1191	278	54	170	134	81	9	3	41	14	7	5	－	2
診療所	735	705	519	139	19	28	26	22	1	1	2	4	4	－	－	－
その他の場所	**3**	**3**	2	**－**	**－**	**1**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**

第14表

傷病程度別搬送人員

（単位:人）

程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	**176,633**	**160**	**9**	**23**	**10,741**	**1,300**	**568**	**27,664**	**1,382**	**1,419**	**121,756**	**11,611**
軽症	97,215	68	6	7	8,713	855	473	18,108	1,222	646	65,719	1,398
中等症	75,989	59	3	4	1,912	426	94	9,254	147	548	53,458	10,084
重症	1,333	12	－	1	90	10	1	152	9	61	880	117
死亡	2,094	21	－	11	26	9	－	150	4	164	1,697	12
不詳	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－

第15表

診療科目別搬送人員

（単位:人）

診療科目	計	軽症	中等症	重症	死亡	不詳
計	**176,633**	**97,215**	**75,989**	**1,333**	**2,094**	**2**
内科	52,507	30,450	21,568	167	322	－
循環器系内科	16,106	6,538	7,509	669	1,390	－
呼吸器内科	17,147	5,145	11,840	123	39	－
小児科	5,363	4,131	1,220	2	10	－
外科一般	6,418	3,248	2,735	150	285	－
整形外科	26,815	15,225	11,560	27	3	－
脳神経外科	34,262	21,689	12,366	184	23	－
産婦人科	2,266	1,097	1,168	1	－	－
泌尿器科	7,678	3,766	3,907	4	1	－
耳鼻咽喉科	4,761	3,904	855	1	1	－
眼科	463	359	104	－	－	－
新生児科	47	10	35	1	1	－
皮膚科	990	534	455	1	－	－
精神科	1,473	862	611	－	－	－
その他	337	257	56	3	19	2

第16表

傷病種別搬送状況

傷病種別	搬送人員
計	**176,633**
感染症及び寄生虫症	**4,117**
腸管感染症	1,033
結核	175
その他の細菌性疾患	356
ウイルス肝炎	6
その他のウイルス疾患	2,000
寄生虫症	6
その他の感染症	541
新生物	**3,128**
口唇、口腔、咽頭の悪性新生物	71
消化器の悪性新生物	1,346
呼吸器、胸腔内臓器の悪性新生物	762
骨、関節軟骨の悪性新生物	54
皮膚の悪性新生物	14
中皮、軟部組織の悪性新生物	16
乳房の悪性新生物	90
女性性器の悪性新生物	108
男性性器の悪性新生物	62
尿路の悪性新生物	128
眼、脳、中枢神経系の悪性新生物	187
内分泌腺の悪性新生物	22
部位不明、続発部位の悪性新生物	16
リンパ組織、造血器の悪性新生物	185
独立した多部位の悪性新生物	4
上皮内新生物	2
良性新生物	18
性状不詳または不明の新生物	43
血液・造血器疾患、免疫機構障害	**673**
貧血	435
凝固障害、紫斑病、出血性病態	44
血液、造血器のその他の疾患	134
免疫機構の障害	60
内分泌、栄養及び代謝疾患	**5,765**
甲状腺障害	57
糖尿病	656
その他の内分泌腺障害	135
栄養欠乏症	123
肥満(症)、その他の過栄養	4
代謝障害	4,790
精神及び行動の障害	**1,580**
症状性を含む器質性精神障害	140
精神作用物質による障害	143
統合失調症型障害、妄想性障害	312
気分[感情]障害	332
精神、行動のその他の障害	653
神経系及び感覚器の疾患	**8,525**
中枢神経系の炎症性疾患	162
挿間性、発作性障害	3,002
麻痺性症候群	104
神経系のその他の疾患	733
眼及び付属器の疾患	324
耳及び乳様突起の疾患	4,200

傷病種別	搬送人員
循環器系　心疾患	**11,735**
急性リウマチ熱	2
慢性リウマチ性心疾患	2
高血圧性疾患	1,315
狭心症	948
急性心筋梗塞	1,352
その他の虚血性心疾患	342
肺性心疾患、肺循環疾患	116
その他の型の心疾患	5,595
動脈、細動脈、毛細血管の疾患	940
静脈、リンパ管、リンパ節の疾患	167
循環器系のその他の疾患	956
循環器系　脳疾患	**7,665**
くも膜下出血	484
脳内出血	1,989
脳梗塞	4,320
その他の脳血管疾患	872
呼吸器系	**14,718**
上気道の疾患	1,940
インフルエンザ	1,017
肺炎	8,524
慢性閉塞性肺疾患	541
喘息	825
下気道のその他の疾患	432
呼吸器系のその他の疾患	1,439
消化器系	**17,436**
口腔、唾液腺、顎の疾患	101
上部消化管の疾患	3,918
急性虫垂炎	774
ヘルニア	293
下部消化管のその他の疾患	7,001
腹膜の疾患	225
肝疾患	1,006
胆のう、胆管、膵の障害	2,846
消化器系のその他の疾患	1,272
皮膚及び皮下組織の疾患	**1,182**
皮膚、皮下組織の感染症	669
皮膚、皮下組織のその他の疾患	513
筋骨格器系及び結合組織の疾患	**4,575**
関節障害	1,167
全身性結合組織障害	35
脊柱障害	1,734
軟部組織障害	952
骨障害、軟骨障害	74
筋骨格、結合組織のその他の疾患	613
腎尿路生殖器系の疾患	**8,396**
腎不全	758
尿路結石症	2,024
腎、尿管のその他の疾患	1,876
膀胱、尿道のその他の疾患	2,299
男性生殖器の疾患	215
乳房、女性生殖器の疾患	1,116
生殖器系のその他の疾患	108

（単位：人）

傷病種別	搬送人員	傷病種別	搬送人員
妊婦、分娩及び産褥	**872**	切断創	118
分娩	110	轢過創	4
流産に終った妊娠	155	剥皮創	92
妊娠に関連する母体障害	238	咬創	109
分娩の合併症	153	射創	－
産褥に関連する合併症	25	擦過創	885
その他の産科的病態	191	開放性骨折	246
		その他の開放性外傷	389
周産期に発生した病態	**39**		
出産外傷	－	**多発外傷**	**256**
周産期に発生したその他の病態	39	全身打撲骨折	56
		頭部及び体幹部骨折	17
先天奇形、変形、及び染色体異常	**9**	頭部及び上肢骨折	3
		頭部及び下肢骨折	5
症状、徴候及び診断名不明確	**34,671**	開放創及び骨折	23
循環器系及び呼吸器系	7,391	その他の多発外傷	152
消化器系及び腹部	4,101		
皮膚及び皮下組織	74	**その他の外傷**	**618**
神経系及び筋骨格系	746	爆創	－
尿路系	594	熱傷	397
認識、知覚、情緒状態及び行動	2,119	凍傷	－
言語及び音声	61	電撃傷	6
全身症状及び徴候	18,291	化学物質損傷	25
血液検査の異常、診断名記載なし	82	放射線損傷	－
尿検査の異常、診断名記載なし	4	その他の外傷	190
その他検査異常、診断名記載なし	43		
画像診断及び機能検査の異常	8	**異物、誤飲**	**715**
診断名不明確及び原因不明の死亡	1,157	外眼異物	30
		耳内異物	14
神経・脊椎損傷	**1,010**	気道内異物	205
頸髄損傷	174	消化管内異物	370
胸髄損傷	1	尿路性器内異物	1
腰髄損傷	4	その他の異物	95
上肢の神経損傷	10		
下肢の神経損傷	2	**窒息**	**194**
頸椎捻挫等	495	酸素欠乏症	5
胸椎捻挫等	4	気道閉塞	189
腰椎捻挫等	270		
その他の神経損傷	50	**中毒**	**5,543**
		薬物中毒	989
内部損傷	**1,843**	麻薬、覚醒剤	18
頭蓋内損傷	1,601	ガス中毒	46
気胸・血胸	125	食物中毒（細菌性を除く）	13
心肺損傷	35	急性アルコール中毒	4,438
腹腔内臓器損傷	60	その他の中毒	39
骨盤腔内臓器損傷	22		
		熱中症	**1,571**
その他の閉鎖性の外傷	**27,844**		
打撲	12,943	**溺水**	**56**
捻挫	883		
脱臼	882	**外因のその他**	**990**
非開放性骨折	11,812		
その他の閉鎖性外傷	1,324	**医療機関以外の場所への搬送**	**2**
開放性の外傷	**10,905**		
挫創	7,343		
切創	1,145		
裂創・割創	470		
刺創	104		

第17表

年齢層別搬送人員

（単位:人）

年　齢　層	計	軽　症	中等症	重　症	死　亡	不　詳
計	**176,633**	**97,215**	**75,989**	**1,333**	**2,094**	**2**
新生児(生後28日未満)	44	6	37	－	1	－
乳幼児(28日～6歳)	6,151	5,026	1,107	6	12	－
少　年(7歳～17歳)	4,130	3,361	737	14	18	－
成　人(18歳～64歳)	67,843	47,675	19,324	406	436	2
高齢者(65歳以上)	98,465	41,147	54,784	907	1,627	－

第18表

性別、事故種別搬送人員

（単位:人）

区　分	計	0歳～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	65歳以上（再掲）
計	**176,633**	**7,262**	**4,983**	**15,070**	**11,457**	**13,846**	**17,179**	**19,449**	**87,387**	**98,465**
性別										
男	91,538	4,234	2,539	6,619	5,700	7,877	10,672	12,390	41,507	48,600
女	85,095	3,028	2,444	8,451	5,757	5,969	6,507	7,059	45,880	49,865
事故種別										
火　災	160	1	2	22	9	22	18	18	68	77
自然災害	9	1	－	－	－	－	－	－	8	8
水　難	23	1	2	2	1	4	2	4	7	8
交　通	10,741	509	726	1,561	1,185	1,454	1,567	1,262	2,477	3,121
労働災害	1,300	－	33	216	192	291	273	167	128	201
運動競技	568	15	290	124	52	35	24	9	19	24
一般負傷	27,664	2,442	537	1,048	934	1,265	2,139	2,779	16,520	18,101
加　害	1,382	16	65	302	263	239	225	136	136	201
自損行為	1,419	1	114	438	231	250	148	98	139	185
急　病	121,756	3,924	3,040	10,794	7,873	9,586	11,734	13,661	61,144	69,021
その他	11,611	352	174	563	717	700	1,049	1,315	6,741	7,518

第19表

所要時間別搬送人員

（単位:人）

事故種別	計	119番入電から医療機関に収容（医師に引継ぎ）するまでに要した時間					
		10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上
計	**176,633**	**11**	**5,627**	**58,557**	**101,190**	**10,446**	**802**
軽症	97,215	9	3,029	33,198	55,771	4,924	284
中等症	75,989	2	2,377	23,947	43,721	5,438	504
重症	1,333	－	75	488	696	63	11
死亡	2,094	－	146	924	1,000	21	3
不詳	2	－	－	－	2	－	－

第20表

転院搬送人員

（単位:人）

区分	計	救急医療機関					その他の医療機関				
		国立	公立	公的左記以外の	私的 病院	私的 診療所	国立	公立	公的左記以外の	私的 病院	私的 診療所
依頼医療機関	**11,611**	237	5	499	5,075	13	2	2	135	1,080	4,563
受入医療機関	**11,611**	881	311	1,707	6,954	2	68	37	1,439	189	23

第21表

理由別転院搬送人員

（単位:人）

理由	計	内科	循環器系内科	呼吸器内科	小児科	外科一般	整形外科	脳神経外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	新生児科	皮膚科	精神科	その他
計	**11,611**	**2,772**	**1,905**	**1,778**	**289**	**657**	**848**	**1,675**	**587**	**559**	**196**	**140**	**14**	**65**	**109**	**17**
ベッド満床	376	110	23	108	2	7	45	26	2	40	4	1	－	2	6	0
専門外	1,513	253	257	149	7	54	75	482	54	79	27	4	－	4	63	5
病床なし	227	48	20	65	3	4	41	11	3	13	5	－	－	2	12	0
処置困難	8,581	2,155	1,528	1,288	199	575	643	1,103	514	395	72	6	10	56	26	11
その他	433	105	58	138	3	11	43	40	11	18	3	－	－	1	2	0
後送	481	101	19	30	75	6	1	13	3	14	85	129	4	－	－	1

※後送とは初期救急医療機関から、より高度な設備等を用いた処置を必要とする傷病者を指定の二次救急医療機関へ転院搬送したもの。

第22表

診療科目別転送状況

区　分	計	内科	循環器系内科	呼吸器内科	小児科	外科一般	整形外科	脳神経外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	新生児科	皮膚科	精神科	その他
人　員	**406**	69	42	39	4	22	62	106	3	9	6	10	－	2	21	11
回　数	**411**	69	43	39	4	23	62	106	3	10	6	10	－	2	22	12
処置人員	**171**	22	23	14	3	13	26	41	3	1	3	4	－	－	9	9

第23表

理由別転送回数

（単位:回）

理　由	合計	急病	一般負傷	交通	その他	救急医療機関					その他の医療機関				
						小計	急病	一般負傷	交通	その他	小計	急病	一般負傷	交通	その他
計	**411**	**245**	**94**	**39**	**33**	**384**	**231**	**83**	**38**	**32**	**27**	**14**	**11**	**1**	**1**
ベッド満床	24	16	1	4	3	22	14	1	4	3	2	2	－	－	－
専門外	108	68	25	8	7	101	64	22	8	7	7	4	3	－	－
病床なし	5	2	2	－	1	5	2	2	－	1	0	－	－	－	－
処置困難	199	109	51	24	15	184	101	45	23	15	15	8	6	1	－
その他	73	50	14	3	6	71	50	12	3	6	2	－	2	－	－
後　送	2	－	1	－	1	1	－	1	－	0	1	－	－	－	1

※後送とは初期救急医療機関へ救急搬送したものの内、より高度な設備等を用いた処置が必要であったため指定の二次救急医療機関に転送したもの。

第24表

回数別転送状況

（単位:人）

事故種別	転送なし (A)	転送あり				搬送人員 (C)＝(A)＋(B)	転送率(%) (B)／(C)×100
		1回	2回	3回以上	小計(B)		
計	**176,222**	**406**	**5**	**－**	**411**	**176,633**	**0.2**
急病	121,511	242	**3**	**－**	245	121,756	0.2
一般負傷	27,570	93	**1**	**－**	94	27,664	0.3
交通	10,702	39	－	**－**	39	10,741	0.4
その他	16,439	32	**1**	**－**	33	16,472	0.2

第25表

要保護傷病者搬送状況

（単位:人）

行政区	計	内科	循環器系内科	呼吸器内科	小児科	外科一般	整形外科	脳神経外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	新生児科	皮膚科	精神科	その他
計	**1,012**	**395**	**72**	**75**	**9**	**54**	**136**	**191**	**13**	**27**	**13**	**1**	**3**	**14**	**8**	**1**
北	**91**	42	6	5	－	5	5	15	2	5	1	－	－	3	2	－
都島	**25**	12	3	3	1	－	2	1	－	2	1	－	－	－	－	－
福島	**8**	1	－	－	－	1	3	3	－	－	－	－	－	－	－	－
此花	**3**	－	1	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
中央	**72**	31	4	4	－	1	13	12	1	1	1	－	－	4	－	－
西	**12**	1	3	1	1	－	4	1	－	－	－	－	－	1	－	－
港	**17**	6	－	3	1	1	2	4	－	－	－	－	－	－	－	－
大正	**26**	11	－	1	－	1	4	7	－	1	－	－	－	1	－	－
天王寺	**23**	11	3	1	1	1	3	3	－	－	－	－	－	－	－	－
浪速	**99**	42	8	2	1	7	11	21	2	3	2	－	－	－	－	－
西淀川	**28**	10	4	3	－	1	3	5	1	－	－	－	－	1	－	－
淀川	**32**	15	3	6	－	1	1	5	－	－	－	－	－	1	－	－
東淀川	**20**	6	1	1	－	3	5	2	－	－	－	－	－	1	1	－
東成	**13**	4	1	5	－	－	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－
生野	**34**	5	5	3	1	3	6	6	2	1	2	－	－	－	－	－
旭	**12**	5	－	1	－	1	1	1	－	2	－	1	－	－	－	－
城東	**20**	8	2	－	－	1	5	4	－	－	－	－	－	－	－	－
鶴見	**11**	1	1	1	－	1	3	2	1	1	－	－	－	－	－	－
阿倍野	**27**	10	1	2	1	－	6	1	2	－	－	－	2	－	2	－
住之江	**32**	7	1	2	1	2	7	12	－	－	－	－	－	－	－	－
住吉	**44**	16	1	4	1	4	6	8	－	2	－	－	－	－	2	－
東住吉	**22**	6	1	3	－	1	6	3	－	2	－	－	－	－	－	－
平野	**33**	12	2	3	－	1	5	6	1	1	1	－	－	－	1	－
西成	**308**	133	21	20	－	18	32	68	1	6	5	－	1	2	－	1
大阪港内	**－**	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
市域外	**－**	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

第26表　救急車走行距離及び所要時間

隊	出場件数	出場→帰署(所) 走行距離(km) 延	走行距離(km) 平均	所要時間(分) 延	所要時間(分) 平均	出場 走行距離(km) 延	出場 走行距離(km) 平均
計	**217,430**	**1,808,119.0**	**8.3**	**11,789,782**	**54.2**	**342,613.1**	**1.6**
本部 本部1	2,315	32,381.0	14.0	151,456	65.4	6,325.2	2.7
本部 本部2	1,057	18,926.7	17.9	76,186	72.1	3,559.3	3.4
北 北森町	3,829	23,414.9	6.1	207,908	54.3	5,151.2	1.3
北 南浮田	3,593	23,804.6	6.6	187,797	52.3	4,979.5	1.4
北 大淀町	4,034	25,783.6	6.4	214,684	53.2	5,756.1	1.4
都島 都島1	3,185	23,354.6	7.3	171,765	53.9	5,576.7	1.8
都島 都島2	3,625	25,869.6	7.1	201,246	55.5	5,477.9	1.5
都島 東野田	1,193	8,876.8	7.4	68,388	57.3	1,968.0	1.6
福島 福島	3,137	21,361.6	6.8	155,140	49.5	4,730.2	1.5
福島 海老江	3,088	20,136.8	6.5	145,579	47.1	4,595.7	1.5
此花 此花1	2,479	17,333.6	7.0	117,096	47.2	4,229.6	1.7
此花 此花2	2,668	22,786.8	8.5	139,850	52.4	4,966.0	1.9
中央 中央	2,477	21,597.5	8.7	126,943	51.2	4,403.3	1.8
中央 道頓堀	3,189	23,746.6	7.4	169,388	53.1	4,401.0	1.4
中央 上町	3,693	25,917.3	7.0	208,529	56.5	3,488.6	0.9
西 西	3,299	24,086.0	7.3	187,767	56.9	4,102.3	1.2
西 江戸堀	3,101	23,545.7	7.6	150,383	48.5	4,851.5	1.6
西 新町	2,823	21,522.6	7.6	150,579	53.3	3,820.3	1.4
港 港	3,412	26,256.7	7.7	176,565	51.7	4,240.8	1.2
大正 大正	3,380	26,878.1	8.0	180,859	53.5	4,915.6	1.5
天王寺 天王寺1	2,881	23,040.2	8.0	148,109	51.4	4,236.9	1.5
天王寺 天王寺2	3,574	25,968.5	7.3	194,207	54.3	5,019.5	1.4
浪速 浪速本署1	1,211	9,453.5	7.8	67,642	55.9	1,836.9	1.5
浪速 浪速本署2	3,279	21,929.5	6.7	147,999	45.1	4,210.1	1.3
浪速 恵美須	2,030	15,579.4	7.7	102,427	50.5	2,594.8	1.3
浪速 浪速(出)	3,929	27,015.7	6.9	193,219	49.2	4,305.7	1.1
西淀川 西淀川	3,289	25,437.5	7.7	181,268	55.1	4,883.6	1.5
西淀川 大和田	3,682	29,348.1	8.0	185,884	50.5	5,670.3	1.5
淀川 淀川1	2,029	15,820.7	7.8	103,711	51.1	3,020.3	1.5
淀川 淀川2	3,556	28,224.0	7.9	194,406	54.7	6,685.1	1.9
淀川 加島	3,377	26,634.0	7.9	178,673	52.9	6,302.7	1.9
東淀川 東淀川	2,589	26,536.4	10.2	155,204	59.9	4,788.6	1.8
東淀川 小松	3,993	32,914.7	8.2	210,605	52.7	7,181.0	1.8
東淀川 西淡路	3,703	35,358.0	9.5	208,453	56.3	6,032.9	1.6
東成 東成1	4,203	33,738.0	8.0	209,443	49.8	7,660.0	1.8
東成 東成2	3,654	27,974.2	7.7	206,865	56.6	5,265.5	1.4
生野 生野	763	5,930.4	7.8	42,888	56.2	1,093.1	1.4
生野 中川	3,383	29,869.4	8.8	196,635	58.1	5,073.5	1.5
生野 巽	3,009	25,878.0	8.6	186,316	61.9	4,336.7	1.4
旭 旭1	3,057	30,926.7	10.1	191,872	62.8	4,893.7	1.6
旭 旭2	3,889	33,617.0	8.6	212,383	54.6	7,368.6	1.9
城東 城東1	3,704	31,994.5	8.6	194,195	52.4	7,036.2	1.9
城東 城東2	3,869	28,641.1	7.4	196,793	50.9	6,721.4	1.7
城東 中浜	3,650	26,876.6	7.4	175,860	48.2	6,226.0	1.7
鶴見 鶴見1	3,759	31,858.2	8.5	202,238	53.8	6,093.4	1.6
鶴見 鶴見2	2,980	25,540.3	8.6	162,003	54.4	5,064.7	1.7
阿倍野 阿倍野1	2,796	24,137.0	8.6	155,414	55.6	4,656.2	1.7
阿倍野 阿倍野2	3,391	30,576.2	9.0	199,330	58.8	5,410.4	1.6
阿倍野 阪南	3,283	29,834.3	9.1	188,095	57.3	5,042.2	1.5
住之江 住之江1	3,482	31,686.3	9.1	203,432	58.4	6,000.1	1.7
住之江 住之江2	4,334	41,944.1	9.7	234,837	54.2	7,281.6	1.7
住之江 南港	1,604	15,891.2	9.9	90,211	56.2	2,888.6	1.8
住吉 住吉1	1,705	32,686.5	19.2	120,490	70.7	3,904.8	2.3
住吉 住吉2	3,514	28,855.5	8.2	183,412	52.2	5,965.1	1.7
住吉 苅田	3,299	27,086.3	8.2	177,548	53.8	5,666.1	1.7
東住吉 東住吉1	3,481	27,541.5	7.9	190,658	54.8	5,112.4	1.5
東住吉 東住吉2	3,803	38,755.8	10.2	242,769	63.8	6,753.0	1.8
東住吉 杭全	1,669	17,161.3	10.3	107,045	64.1	3,146.4	1.9
平野 平野1	3,366	35,169.2	10.4	213,611	63.5	5,953.7	1.8
平野 平野2	3,424	34,394.1	10.0	189,490	55.3	6,073.3	1.8
平野 長吉	3,207	33,004.6	10.3	178,820	55.8	5,650.8	1.8
平野 喜連	3,355	36,280.6	10.8	180,693	53.9	5,014.9	1.5
西成 西成1	4,113	38,096.1	9.3	224,213	54.5	6,198.3	1.5
西成 西成2	4,246	31,878.2	7.5	206,786	48.7	6,187.0	1.5
西成 海道1	819	6,879.8	8.4	45,784	55.9	1,241.8	1.5
西成 海道2	4,700	26,215.2	5.6	230,809	49.1	4,155.2	0.9
西成 津守	4,491	25,833.5	5.8	223,710	49.8	4,120.2	0.9
水上 水上	3,937	29,422.4	7.5	196,900	50.0	5,582.1	1.4
航空隊 航空隊	2,090	25,493.4	12.2	128,692	61.6	4,274.8	2.0
増強救急隊 増強救急隊	－	－	－	－	－	－	－
	702	5,610.2	8.0	39,627	56.4	1,194.1	1.7

※増強救急隊とは、特別警戒及び救急需要増大時の増強隊。

→ 現場 所要時間(分)		傷病者搬送件数	現場 → 病院 走行距離(km)		現場 → 病院 所要時間(分)		隊
延	平均		延	平均	延	平均	
1,076,834	5.0	176,127	666,843.4	3.8	1,327,340	7.5	**計**
14,693	6.3	2,073	12,651.2	6.1	20,165	9.7	本部救急隊 本部 1
8,130	7.7	922	7,411.0	8.0	10,730	11.6	本部 2
17,000	4.4	3,042	8,306.2	2.7	18,527	6.1	北
16,250	4.5	2,868	7,998.7	2.8	17,790	6.2	北 南森町
18,900	4.7	3,301	9,115.1	2.8	20,089	6.1	浮田
14,775	4.6	2,576	7,940.2	3.1	16,598	6.4	大淀町
17,149	4.7	3,064	9,294.8	3.0	19,548	6.4	都島 1
6,280	5.3	1,021	3,245.9	3.2	7,279	7.1	都島 都島 2
14,190	4.5	2,571	7,598.4	3.0	15,618	6.1	東野田
14,607	4.7	2,617	7,530.7	2.9	15,205	5.8	福島 福島
12,798	5.2	2,191	6,096.0	2.8	13,119	6.0	海老江
15,630	5.9	2,255	8,787.1	3.9	17,837	7.9	此花 1
12,773	5.2	2,163	8,418.1	3.9	16,334	7.6	此花 2
13,349	4.2	2,631	8,298.3	3.2	16,361	6.2	中央
16,130	4.4	2,602	8,989.8	3.5	18,438	7.1	中央 道頓堀
15,781	4.8	2,542	7,946.8	3.1	16,312	6.4	上町
14,231	4.6	2,603	9,219.7	3.5	17,963	6.9	西
14,221	5.0	2,364	7,854.3	3.3	15,191	6.4	西 江戸堀
16,146	4.7	2,723	9,879.1	3.6	19,628	7.2	新町
15,947	4.7	2,887	10,321.9	3.6	20,804	7.2	港
13,744	4.8	2,467	9,295.1	3.8	18,650	7.6	大正
16,667	4.7	2,949	10,018.8	3.4	19,153	6.5	天王寺 天王寺 1
5,738	4.7	1,038	3,691.7	3.6	6,742	6.5	天王寺 2
13,037	4.0	2,468	7,686.2	3.1	15,373	6.2	浪速 浪速本署 1
8,026	4.0	1,575	5,654.7	3.6	11,005	7.0	浪速本署 2
14,014	3.6	2,849	9,841.6	3.5	18,798	6.6	浪速 恵美須
13,798	4.2	2,621	9,292.0	3.5	18,574	7.1	浪速(出)
17,855	4.8	3,233	11,750.3	3.6	24,585	7.6	西淀川 西淀川
9,607	4.7	1,807	6,388.0	3.5	13,431	7.4	大和田
21,449	6.0	2,953	10,308.9	3.5	22,799	7.7	淀川 淀川 1
20,892	6.2	2,766	9,657.9	3.5	21,014	7.6	淀川 淀川 2
14,132	5.5	2,202	9,467.9	4.3	18,339	8.3	加島
23,067	5.8	3,427	12,831.4	3.7	26,538	7.7	東淀川 東淀川
19,395	5.2	3,185	13,907.2	4.4	28,032	8.8	東淀川 小松
20,550	4.9	3,468	12,182.7	3.5	24,524	7.1	西淡路
19,543	5.3	2,936	10,283.9	3.5	22,196	7.6	東成 東成 1
3,912	5.1	631	2,239.3	3.5	4,755	7.5	東成 2
15,720	4.6	2,813	10,875.3	3.9	22,591	8.0	生野
14,880	4.9	2,449	9,380.3	3.8	20,110	8.2	生野 中川
15,153	5.0	2,581	11,842.7	4.6	24,427	9.5	巽
20,222	5.2	3,259	11,722.4	3.6	24,092	7.4	旭 旭 1
18,901	5.1	3,043	11,098.9	3.6	22,555	7.4	旭 2
20,444	5.3	3,298	9,721.7	2.9	22,582	6.8	城東 城東 1
18,264	5.0	3,085	9,093.3	2.9	19,698	6.4	城東 城東 2
18,768	5.0	3,331	11,810.4	3.5	25,548	7.7	中浜
16,498	5.5	2,600	9,639.2	3.7	20,904	8.0	鶴見 鶴見 1
14,377	5.1	2,497	9,274.5	3.7	19,523	7.8	鶴見 2
17,614	5.2	2,703	11,177.8	4.1	21,989	8.1	阿倍野 阿倍野 1
16,541	5.0	2,689	11,107.3	4.1	22,380	8.3	阿倍野 阿倍野 2
18,753	5.4	2,709	10,759.7	4.0	21,404	7.9	阪南
20,494	4.7	3,499	15,859.9	4.5	26,574	7.6	住之江 住之江 1
8,294	5.2	1,358	6,012.8	4.4	10,716	7.9	住之江 住之江 2
10,009	5.9	1,490	14,255.4	9.6	21,173	14.2	南港
18,946	5.4	2,638	10,195.7	3.9	19,279	7.3	住吉 住吉 1
18,237	5.5	2,466	9,366.6	3.8	18,860	7.6	住吉 住吉 2
16,335	4.7	2,598	10,086.6	3.9	18,920	7.3	苅田
21,766	5.7	2,989	13,967.2	4.7	27,608	9.2	東住吉 東住吉 1
10,281	6.2	1,379	6,000.9	4.4	12,258	8.9	東住吉 東住吉 2
19,372	5.8	2,811	12,909.8	4.6	26,046	9.3	杭全
18,375	5.4	2,728	13,022.8	4.8	24,472	9.0	平野 1
16,950	5.3	2,586	12,691.8	4.9	23,821	9.2	平野 平野 2
14,837	4.4	2,638	13,515.1	5.1	23,116	8.8	長吉
18,426	4.5	3,285	14,554.5	4.4	26,972	8.2	喜連
20,065	4.7	3,002	11,202.1	3.7	21,917	7.3	西成 1
4,506	5.5	628	2,544.6	4.1	4,879	7.8	西成 2
17,666	3.8	3,204	9,887.2	3.1	21,926	6.8	西成 海道 1
16,264	3.6	2,914	9,595.6	3.3	20,921	7.2	海道 2
20,172	5.1	2,896	10,499.8	3.6	20,702	7.1	津守
11,277	5.4	1,771	9,792.1	5.5	16,950	9.6	水上
－	－	－	－	－	－	－	航空隊
4,021	5.7	599	1,978.5	3.3	4,383	7.3	増強 救急隊

第27表

覚知方法別受信件数

（単位:件）

計	１１９	救急安心センター	警察電話	加入電話	自己覚知	かけつけ	聴言障害	その他
216,577	205,009	3,445	4,914	1,558	332	942	3	374

第28表

PA連携活動支援種別状況

（単位:件）

計	救命	高速救急	人的補助	安全管理	情報収集	その他
5,475	5,081	265	51	30	18	30

第29表

他市町村との協力状況

市町村	市域外直接出場		市町村	中継活動			
				他市救急隊に引継ぎ		他市救急隊から引継ぎ	
	件数（件）	搬送人員（人）		件数（件）	搬送人員（人）	件数（件）	搬送人員（人）
合　計	**46**	**22**	**合　計**	**1**	**1**	**－**	**－**
府下			**府下**	1	1	－	－
八尾市	5	2					
東大阪市	13	10	**府外**	－	－	－	－
松原市	4	2					
摂津市	2	1					
守口市	3	2					
吹田市	6	2					
堺市	2	1					
茨木市	1	－					
豊中市	5	2					
門真市	1	－					
府外							
尼崎市	4	－					

第30表

応急手当普及啓発の実施状況

講習種類	実施回数(回)	年延受講者(人)
救命入門コース	120	2,001
普通救命講習	527	6,165
上級救命講習	58	763
応急手当普及員講習	20	268
応急手当普及員再講習	82	971
応急手当普及員が実施した講習	654	10,880
応急手当指導員講習	3	171

第31表

救急活動状況の推移

区　　分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出　場　件　数	226,048	229,013	242,612	245,105	217,430
搬　送　人　員	183,938	188,137	200,822	203,379	176,633
現場処置人員	6,552	6,248	6,439	6,352	7,090
救　護　人　員	190,490	194,385	207,261	209,732	183,723
医師搬送件数	5	4	6	10	9
資器材等輸送件数	1	1	－	－	3
不　搬　送　件　数	42,926	41,591	42,620	42,482	41,291
地　域　別					
市域内出場件数	225,948	228,947	242,562	245,034	217,384
市域外出場件数	100	66	50	71	46
1隊あたりの出場件数	3,767.5	3,635.1	3,851.0	3,829.8	3,151.1
1隊あたりの搬送人員	3,065.6	2,986.3	3,187.7	3,177.8	2,559.9
1日あたりの出場件数	617.6	627.4	664.7	671.5	594.1
1日1隊あたりの出場件数	10.3	10.0	10.6	10.5	8.6
1日あたりの最多出場件数	783	805	985	852	861
救急車台数					
常　備　車	60	63	63	64	69
予　備　車	16	16	16	16	18
人　口	2,702,033	2,713,157	2,725,006	2,740,202	2,750,995

第32表　　年別救急活動状況

年	救急隊数	出場件数	搬送人員	救護人員
昭和24	1	……	……	478
25	3	……	……	943
26	3	……	……	1,913
27	3	……	……	2,164
28	3	……	……	2,106
29	3	……	……	2,004
30	3	……	……	2,025
31	3	……	……	2,380
32	3	……	……	2,529
33	5	……	……	3,369
34	5	……	……	5,234
35	5	……	……	6,764
36	7	……	……	9,103
37	7	……	……	11,008
38	8	……	……	14,504
39	21	……	20,317	20,860
40	21	31,986	26,735	27,621
41	22	36,911	31,568	32,548
42	22	39,796	33,409	34,374
43	24	45,248	38,215	39,088
44	24	51,600	42,704	43,695
45	24	57,830	47,654	48,646
46	26	61,835	52,146	53,050
47	26	66,369	56,615	57,553
48	26	73,634	63,443	64,469
49	28	72,436	62,126	63,189
50	31	74,988	63,953	64,847
51	32	74,945	64,232	64,921
52	33	78,212	68,617	69,036
53	34	78,739	69,157	69,466
54	35	79,925	70,802	71,106
55	36	83,889	75,068	75,434
56	37	84,041	75,367	75,712
57	37	88,029	78,755	79,177
58	37	89,325	80,195	80,585
59	37	90,173	80,878	81,223
60	38	93,043	83,958	84,317
61	38	93,140	84,423	84,793
62	38	97,872	88,397	88,808
63	38	101,810	92,203	92,661
平成元	38	106,551	97,538	97,973
2	39	113,217	103,574	103,981
3	42	116,823	107,302	107,787
4	42	117,027	107,471	107,977
5	46	120,779	111,022	111,617
6	46	123,438	113,029	113,723
7	46	135,026	123,161	123,927
8	48	139,887	127,540	128,290
9	49	141,687	128,559	129,182
10	50	150,687	135,235	135,894
11	50	153,578	137,976	138,542
12	50	164,973	148,075	148,803
13	50	174,881	155,554	156,342
14	50	178,349	158,044	159,136
15	50	187,396	165,760	167,169
16	50	194,685	172,572	174,211
17	50	202,468	178,647	180,572
18	50	205,036	179,675	182,143
19	59	204,373	173,923	177,679
20	60	193,368	161,251	165,640
21	60	197,366	161,251	166,831
22	60	205,068	165,189	171,898
23	60	210,194	166,721	174,752
24	60	214,953	170,801	178,301
25	60	220,131	175,787	182,793
26	60	218,281	176,408	182,942
27	60	219,876	178,907	184,978
28	60	226,048	183,938	190,490
29	63	229,013	188,137	194,385
30	63	242,612	200,882	207,261
令和元	64	245,105	203,379	209,732
2	69	217,430	176,633	183,723

※救護人員＝搬送人員＋現場処置人員

参　　考　　資　　料

昭和50年以降の特異救急事故

年別	発生日時		事故発生場所	事故種別	傷病者				
	月日	時分			軽症	中等症	重症	死亡	合計
50	3・10	6:20	西成区萩之茶屋1丁目8－20 KK千成ホテル	火災	50	5	1	4	60
	4・17	21:54	東区杉山町1　熊谷組 森之宮工事現場地下作業場	火災	12	0	6	0	18
	4・29	22:28	大阪南港フェリー埠頭	水難	10	1	1	0	12
52	1・26	2:02	大正区三軒家東2丁目3－10 遠州屋	火災	0	0	0	5	5
	5・19	2:05	港区海岸通4－5　大阪港第8突堤 ユニオンオーストラリア号	労災	0	0	0	7	7
	6・24	1:18	大正区三軒家東5丁目3－27 柳井建設KK	火災	2	0	4	12	18
	7・10	13:30	港区田中3丁目1－5 大阪国際見本市会場 くみあい家具フェア	急病	350	449	1	0	800
	10・9	18:20	鶴見区鶴見1～6丁目全域	急病	77	0	10	0	87
	10・18	1:50	城東区中浜1丁目　全域	急病	45	18	0	0	63
54	1・26	14:35	住吉区万代東1丁目15 三菱銀行　北畠支店	加害	16	13	0	5	34
	1・30	20:00	港区石田2丁目3　大阪港内 ホーロン号	急病	15	12	2	0	29
	5・21	13:56	阿倍野区美章園1丁目1－2 KK住吉ゴム	火災	0	0	0	7	7
55	5・26	17:02	西淀川区出来島2－2 国道43号線交差点	交通	13	3	0	0	16
	6・14	15:52	都島区高倉1丁目3－22 高倉幼稚園	急病	42	29	0	0	71
57	1・29	8:24	天王寺区悲田院町10－53 国鉄天王寺駅	交通	103	2	0	0	105
60	4・21	13:30	北区中之島5丁目3－51 大阪国際貿易センター	急病	21	16	0	0	37
	12・8	5:50	東住吉区桑津3丁目28－1 KK三和電器製作所	一般	118	4	0	0	122
61	2・12	2:23	西成区花園北2丁目17－20 東洋ハウス	火災	1	0	7	5	13
	2・28	2:03	生野区中川西2丁目2－4 大衆スタンド一福	火災	0	0	2	8	10
	5・5	18:09	北区梅田3丁目1－1 国鉄大阪駅西口	急病	7	14	0	0	21
63	5・18	1:52	港区海岸通1丁目5番街区 1号岸壁(中央突堤北岸壁) プリアムーリエ号	火災	23	8	4	11	46

年別	発生日時		事故発生場所	事故種別	傷病者				
	月日	時分			軽症	中等症	重症	死亡	合計
元	3・7	15:10	旭区太子橋1－26先 淀川河川	運動	14	0	0	3	17
	8・27	14:18	天王寺区悲田院町10－48 JR天王寺駅4番線	交通	46	0	0	0	46
2	4・2	12:15	花博会場内　街のエリア(守口市域)ウォーターライド アドベンチャー・クルーズ	一般	19	2	3	0	24
	10・2	18:00	西成区萩之茶屋1丁目及び2丁目 西成警察周辺	一般	101	36	1	0	138
3	3・1	17:30	東成区大今里6丁目1－1 コクヨ㈱本社ビル	急病	8	17	0	0	25
5	3・24	3:23	大正区千島2丁目4－3 千島市営住宅3号棟	火災	20	0	0	0	20
	10・5	17:29	住之江区泉1丁目1 南港ポートタウン線　住之江公園駅	交通	176(救急隊による搬送人員と現場処置数)				
7	3・2	9:30	平野区背戸口5丁目 阪神高速松原線上り6．5KP	交通	39	0	0	0	39
	9・18	0:30	中央区心斎橋筋2丁目4－5 パブレストランいろはにほへと 宗右衛門町店	加害	23	0	0	0	23
9	8・4	15:30	平野区長吉長原西1丁目1－10 ダイエー長吉店	一般	28	12	0	0	40
	10・2	10:18	中央区城見2丁目1－61 ナショナルツインタワー2階2号 エスカレーター	一般	31	0	1	0	32
17	9・26	18:42	北区西天満6丁目7番2号 新日本梅新ビル	火災	20	6	0	0	26
18	12・12	21:53	此花区北港緑地2-3-75 ロッジ舞洲	急病	24	37	0	0	61
19	7・31	10:15	西区本田3丁目3番 阪神高速16号港線上り2.3KP	交通	32	1	0	0	33
20	10・1	2:59	浪速区難波中3丁目3番23号 個室ビデオキャッツ難波店	火災	3	3	4	15	25
21	7・5	16:16	此花区四貫島1丁目5番6号 児島建設ビル1階 cross-ニコニコ(パチンコ店)	火災	4	3	5	4	16
22	2・3	10:21	住之江区粉浜2丁目6番6号 市立粉浜小学校	火災	31	1	0	0	32
	12・10	11:05	中央区久宝寺町3丁目1番9号 株式会社ヒガシトゥエンティワン 本社ビル	火災	12	0	1	0	13
24	8・18	14:17	東住吉区長居公園1番 長居公園	自然	8	1	0	2	11

大阪市消防(救急関連)のあゆみ

昭和22年 (1947)	消防組織法公布	12月23日消防組織法(法律226号)の公布により、消防は警察機構から分離して、市町村に移管され、市町村の責任管理のもとに運営されることとなった。
昭和23年 (1948)	市議会での議決	１月定例市議会に、大阪市消防発足に伴う条例案及び受入準備案を上程可決し、同時に消防委員会を設置して、受入体制が完了した。
	自治体消防の発足	３月、大阪市消防本部の設置、名称、組織及び管轄区域に関する条例を公布施行し、大阪市消防が発足した。
	救急車の運用開始	４月、北消防署に救急車１台を置き、救急業務を開始した。
	消防法の公布施行	７月、消防法(法律186号)が公布施行された。
昭和25年 (1950)	消防宝くじの発売	１月、消防設備経費にあてるため、宝くじを発売し、その収益金で救急車２台を含む消防車両計20台を増強した。
昭和28年 (1953)	救急隊に関する規則制定	10月、大阪市消防救急隊に関する規則を制定し、救急業務範囲が明確化された。
昭和33年 (1958)	搬出車(０Ｓ－２４型救出車)の運用開始	７月、大阪市消防救急隊に関する規則を廃止、大阪市消防救出隊に関する規則を制定。これにより、西、天王寺の各消防署に救出車(0S－24型救出車)を配置した。
昭和38年 (1963)	救急業務の法制化	４月、消防法の一部改正により救急業務が法制化されたため12月に従来の「救出車」を「救急車」と名称変更し、車体の色を朱色から白色にもどし運用を開始した。発足当初は７隊であったが、増強して各署１隊計21隊となった。
	消防法施行令改正	12月、消防法施行令の改正（令44①）。救急自動車１台と救急隊員３人以上をもって編成。
昭和39年 (1964)	救急業務実施基準の制定	３月、救急業務実施基準の制定。
	救急業務を開始	４月、昭和38年４月の消防法の改正に伴い“救急業務運用規定”を制定、市役所前で新型救急車(0S-41型)を披露し、救急隊の発足式を行った。
昭和42年 (1967)	救急指令台の運用開始	３月、ワンタッチシステムの救急指令台が完成し、運用を開始した。
昭和46年 (1971)	救急車のサイレン切替	７月、救急車のサイレンをピーポー音に一斉切替した。
昭和48年 (1973)	機構改革	４月、予防部に機動査察隊を新設し、警防部では救急係を救急課に昇格させた。
昭和52年 (1977)	消防局別館（コンピュータ棟）竣工	３月、火災・救急指令業務自動化事業の一環として、コンピュータ機器一式及びこれに関連する通信機器、電気設備等を収容するコンピュー

		タ棟が完成した。
昭和53年 (1978)	機構改革 応急処置の基準の制定 指令業務の自動化システム運用開始 消防法施行令の一部改正	４月、警防部を計画課、司令課、救急課、機械課とした。 ７月、応急処置の基準の制定。応急処置を行うことができる救急隊員は救急業務実施基準の135時間修了者に限定。 10月、全国初の火災・救急指令業務のコンピュータによる自動化システムが完成、運用を開始した。 12月、消防法施行令の一部改正（昭和57年４月施行）。救急隊員に一定の講習受講を義務づけ（令44③）。
昭和56年 (1981)	消防法施行規則の一部改正	12月、消防法施行規則の一部改正（昭和57年４月施行）。令44③に基づき135時間講習のカリキュラムを規定（則51）。
昭和57年 (1982)	「救急の日」の制定	７月、救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年９月９日を「救急の日」とし、この日を含む１週間が「救急医療週間」として制定された。
昭和60年 (1985)	救急隊の増隊	10月、救急隊１隊を新たに大淀町出張所に配置、業務を開始した。
昭和61年 (1986)	消防法の改正	４月、消防法の改正により、事故以外の急病人も対象とするとともに、 緊急避難としての応急手当を明文化。
昭和63年 (1988)	機構改革	４月、予防部を予防課、査察課、危険物課の３課とし、救急課を救急救助課とした。
平成３年 (1991)	救急救命士法制定 救急救命中央研修所開設 応急処置の基準の改正	４月、救急救命士法制定 ８月、救急救命中央研修所(救急アカデミー)開設。(台東区上野) ８月、応急処置の基準の改正（拡大９項目）。９項目の実施には、250 （115 ＋135）時間講習の受講が必要。 ・消防学校の教育訓練の基準の一部改正。専科教育の救急科にⅠ課程（135）とⅡ課程（115）を位置づけ。 ・救急業務実施基準の改正（第６条）。救急救命士とⅡ課程（115）の修了者をもって救急隊を編成するよう努めるものとする。
平成４年 (1992)	大阪市救急教育センターの竣工 高規格救急車の配置 第１回救急救命士国家試験	３月、救急救命士養成教育など、救急教育専用の施設として「大阪市救急教育センター」が消防学校内に竣工した。 ３月、高規格救急車１台を西消防署に配置した。 ３月、第1回救急救命士国家試験に、全国で4,301名が受験、3,177名が合格。当局からは41名が受験し、全員合格した。
平成５年 (1993)	救急救命中央研修所が改称 救急救命東京研修所が移転	４月、救急救命中央研修所が救急救命東京研修所に改称。 10月、救急救命東京研修所が移転(八王子市南大沢)。

	高規格救急車を全署に配置	11月、市内全消防署に高規格救急車を配置。
平成６年 (1994)	各種救命講習制度がスタート	４月、市民に対する救命講習会及び指導員講習、普及員講習を開始。
平成７年 (1995)	救急救命九州研修所が開設	３月、救急救命九州研修所が開設。
平成８年 (1996)	高規格救急車導入率100％	１月、市内の全救急隊46隊が高規格救急車となった。
	大阪市患者等搬送事業者協会と協定を締結	８月、大規模災害時の搬送業務にかかる協定を締結。
	救急隊２隊を増隊	10月、救急隊２隊を増隊し、48隊体制となった。
平成９年 (1997)	救急隊１隊を増隊	７月、救急隊１隊を増隊し、49隊体制になった。
平成10年 (1998)	消防システム「ANSIN」運用開始	４月、消防車等の位置、動態を即時に把握する機能と、必要情報をデジタル無線を使用し送受信でさる機能を持ったシステム「ANSIN」を導入。
	「大阪市救急情報サービス」開始	４月、市民からの救急に関する問い合わせに専用電話を使って応じる「大阪市救急情報サービス」を開始した。
	救急隊１隊を増隊	10月、救急隊１隊を増隊し、50隊体制となった。
平成11年 (1999)	タイ国・コンケン県へ職員派遣	５月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員２名を派遣した。
	タイ国・コンケン県へ職員派遣	10月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員１名を派遣した。
平成12年 (2000)	タイ国・コンケン県へ職員派遣	４月、国際協力事業団(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員１名を派遣した。
	教育訓練の基準の一部改正	Ⅰ・Ⅱ課程を統合した標準課程（250）を創設。
平成13年 (2001)	タイ国・コンケン県へ職員派遣	１月、国際協力事業団(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員１名を派遣した。
	機構改革	４月、総務部を総務課、人事厚生課、施設課の３課とし、予防部を予防課、設備保安課の２課とし、警防部を計画情報課、司令課、救急課、救助課の４課とした。
	女性救急隊員配置	10月、女性救急隊員２名を天王寺消防署救急隊に配置した。

平成 14 年 (2002)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 タイ国・コンケン県へ職員派遣 「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」報告書	１月、国際協力事業団(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」でのプレホスピタルケアにおける救急隊員による応急手当の普及啓発の指導等の事前調査のため、職員１名を派遣した。 ３月、国際協力事業団(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員１名を派遣した。 12 月、総務省消防庁と厚生労働省が共同で設置した検討会で、救急救命士の業務範囲拡大を認めるべき等の報告書がとりまとめられた。
平成 15 年 (2003)	救急救命士法施行規則の一部改正 市長村の救急業務実施義務制度廃止 e メールによる 119 番通報を開始 タイ国コンケン県へ職員派遣 教育訓練の基準の全部改正	４月、包括的指示下での除細動実施。 ６月、消防法令に規定する市町村の救急業務実施に関する規定削除。 ８月、e メールでの火災、救急等緊急通報の受信を開始した。 11 月、国際協力機構(JICA)からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員１名を派遣した。 11 月、消防学校の教育訓練の基準の全部改正。Ⅰ課程とⅡ課程の区別を廃止し標準課程に一本化した上で、救急科に改称。
平成 16 年 (2004)	阿倍野防災センター竣工・業務開始 非医療従事者によるAED使用開始 救急救命士法施行規則の一部改正 タイ国・コンケン県へ職員派遣	５月、大阪市立阿倍野防災センターが竣工し、業務を開始した。 ７月、非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)使用開始(厚生労働省通知)。 ７月、救急救命士による気管挿管開始。 11 月、国際協力事業団(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員１名を派遣した。
平成 17 年 (2005)	タイ国・コンケン県へ職員派遣 消防力の整備指針の制定	２月、国際協力機構(JICA) からの要請により、「タイ国外傷予防プロジェクト」に関する技術協力として職員１名を派遣した。 ６月、消防力の整備指針の制定（消防力の基準を全部改正）。転院搬送の場合は救急隊員２名と医師等１名で可。消火活動に影響ない範囲で消防隊との兼務が可。
平成 18 年 （2006）	救急救命士法施行規則の一部改正 AED(自動体外式除細動器)を全署に 設置	４月、救急救命士による薬剤投与開始。 ９月、市内全消防署・出張所に AED(自動体外式除細動器)を設置した。
平成 19 年 （2007）	救急隊５隊を増隊 救急隊４隊を増隊	４月、救急隊５隊を増隊し、55 隊体制になった。 10 月、救急隊４隊を増隊し、59 隊体制になった。
平成 20 年 （2008）	救急隊 1 隊を増隊	３月、救急隊１隊を増隊し、60 隊体制になった。

平成 21 年 （2009）	「救急救命処置の範囲等について」の一部改正	３月、救急救命士によるエピペン投与。
	消防法の一部改正	５月、消防法の一部改正（平成 21 年 10 月 30 日施行）。傷病者の救急搬送及びその受け入れをより適切かつ円滑に行うため、都道府県ごとに「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」を策定することなどが義務付けられた。
	大阪市救急安心センターの開設	10 月、国のモデル事業として、指令情報センター内に相談員及び看護師が医師の支援体制のもと救急医療相談に応じる「大阪市救急安心センター」が開設された。
平成 22 年 （2010）	救急安心センター事業の拡大	４月、名称を「救急安心センターおおさか」に変更し、隣接する 15 市との共同運営を開始し、同年 12 月から翌年３月までは国のモデル事業として、対象エリアを大阪府内全域（33 市９町１村）に拡大した。
平成 23 年 （2011）	救急安心センターの共同運営	４月、大阪府内全市町村（33 市９町１村）が共同して救急安心センターおおさかを運営。
平成 24 年 （2012）	機構改革	４月、救急施策の企画執行体制強化するために、救急部が創設された。
	ウェブサイト開設	10 月、応急手当を受講しやすい体制とし繰り返し学べるよう、専用の WEB サイト「ボジョレーに教わる救命ノート」を開設した。
	救急救命士の処置拡大	12 月、救急救命士によるビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管開始。
平成 25 年 （2013）	救急搬送支援システム全隊運用	２月、傷病者の観察項目を入力することにより、医療機関の検索と搬送連絡がワンストップで行える、スマートフォンを用いた「救急搬送支援システム」を全隊で運用開始した。
	救急資器材管理供給業務（SPD）開始	４月、救急隊が使用する物品の選定、調達・購入方法の設定、発注から在庫・払出・使用・消費・補充に至る一連の物品の流れ（物流）、取引の流れ（商流）及び情報の流れ（情報流）を物品管理システムを使い一元管理する「救急資器材管理供給業務（SPD）」を開始した。
平成 26 年 （2014）	救急救命士の処置拡大	10 月、救急救命士による心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与開始。
平成 27 年 （2015）	小児救急支援アプリ（大阪市版）運用開始	９月、スマートフォン専用アプリである「小児救急支援アプリ（Android 版）」を開発し、大阪市内を対象地域として、９月９日から運用開始。
平成 28 年 （2016）	小児救急支援アプリ（大阪府版）運用開始	４月、小児救急支援アプリを救急安心センターおおさか事業の一環として、対象地域を大阪府内全域に拡大。
平成 29 年 （2017）	救急隊３隊を増隊	４月、救急隊３隊（うち１隊を本部救急隊として運用）を増隊し、63 隊体制になった。
	指導救命士運用開始	５月、救命士等の教育等を担当する指導救命士を運用開始。

平成 30 年 （2018）	救命サポートアプリ運用開始	４月、目の前で人が倒れた時、ためらわずに応急手当を実施することができる「救命サポートアプリ」の運用を開始した。
令和元年 （2019）	救急隊１隊増隊	10 月、救急隊１隊（旭第２救急隊）を増隊し、64 隊体制になった。
令和２年 （2020）	救急隊５隊増隊	４月、救急隊３隊（うち１隊を本部第２救急隊として運用）を増隊。 10 月、救急隊２隊増隊し、69 隊体制になった。

印刷用の紙にリサイクルできます。